

「人民日報」、「光明日報」に見る 1970年代中国の図書館

付・中国図書館関係記事目録

中原ますゑ

内 容

- I. 1～3 年代別, 地域別, 種類別に見た図書館の概要
- II. 1～3 政治的背景と図書館界の全般的な状況
- III. 1～9 各種図書館の具体的活動
- IV. 1～2 結び

註

中国図書館関係記事目録

I

ここで紹介しようとするのは、1970年代の主として「人民日報」、「光明日報」に報道されている中国の図書館の状況である。

1960年代後半からの中国文化大革命中、殆んど伝えられなかった中国各地の図書館に関する記事が、1970年に入るとこれらの新聞に僅かながら掲載されはじめ、図書館の事情も多少は分かるようになって来た。文化大革命以前には、国立北京図書館によって編集、または発行されていた「図書館工作」(1955年～1960年)、「図書館学通讯」(1957年～1960年)、「図書館」(1961年～1964年)(図書館学通讯の改題されたもの)など図書館関係の雑誌があり、中国の図書館政策や、各図書館の具体的事情、活動状況その他はこの様な諸資料によって知ることができた。現在では、中国図書館学会の

機関誌として「図書館学通讯」の1号が1979年6月に発刊され、中国科学院の「図書館情報工作」が1980年2月から創刊の予定であり、湖北省図書館や天津市人民図書館といった各地の公共図書館でも1978年頃から「図書工作」等が刊行されている。しかし文化大革命以後それまでの期間の中国の図書館界の実情をうかがう手がかりとしては上述の「人民日報」、「光明日報」の記載によるほかはない。もっとも、欧米人の手になる中国図書館訪問記の類は、欧文の雑誌に散見される。邦文のものについては、その多くが訪中の記録という形で、個人の印象記として断片的にその中で扱われているのみである。

また日本の図書館関係の雑誌や新聞に見られる紹介記事は、いずれも「人民日報」や「光明日報」をもとにして、これらを要約したものが大部分である。このような理

由から、ごく限定された範囲の資料ではあるが、この間の事情を報じている二つの新聞を中心に、中国の各種図書館についてここでいささかの解説を試みてみたいと思う。

I-1

まず1970年1月から1979年12月までの間に両新聞にのせられた記事を年代別に示すと以下のようになっている。

1970年	2件
1971年	2件
1972年	6件
1973年	40件
1974年	19件
1975年	35件
1976年	5件
1977年	8件
1978年	76件
1979年	152件

この10年間に発表された図書館にかかわりのある記載事項は、合計345件あり、これを見ると、ほぼ二つの山があって一つは1973年～1975年に多く、また1978年～1979年になると圧倒的に増加していることが分かる。(これについては末尾に附した関係記事目録を参照していただきたい。)

I-2

次にこれを地域別にあげると下記のごとくである。

北京市	52件
上海市	45件
天津市	13件
河北省	10件
山西省	14件
内蒙古自治区	4件
遼寧省	12件
吉林省	6件

黒竜江省	5件
陝西省	13件
甘肅省	5件
[寧夏回族自治区]	なし
[青海省]	なし
新疆維吾爾自治区	4件
山東省	6件
江蘇省	13件
浙江省	2件
安徽省	6件
江西省	1件
福建省	6件
河南省	7件
湖北省	20件
湖南省	15件
広東省	12件
広西壮族自治区	6件
四川省	7件
貴州省	5件
雲南省	4件
西藏自治区	3件

これによれば、最も多いのは、北京市で、上海市がこれに次ぐ。あとは湖北省、湖南省、山西省、天津市、陝西省、江蘇省、遼寧省、広東省、河北省の順となっている。図書館について何らかの記事があったのは、上記のように、寧夏回族自治区、青海省を除く3直轄市、20省、4自治区に及んでいる。

I-3

これをさらに図書館の種類別に分けてみると以下のとおりである。

国立北京図書館	10件
専門図書館(中国科学院, 中国社会科学院, 中国科学技術情報研究所などを含む)	33件
学校の図書館(大学, 専門学校, 中学,	

小学校) ……………75件
 (内大学, 専門学校 57件)
 公共図書館(省, 市, 県, 区のレベルのもの) ……………61件
 都市の街道の図書室……………10件
 軍隊の図書室…………… 2件
 工場の図書室……………15件
 農村の図書室(人民公社の図書室など) ……………42件
 書店の図書室……………65件
 図書館政策, 理論等に関するもの(地域別, 種類別に入らないもの) ……57件
 外国の図書館事情の紹介等…………11件
 (1件の中にいくつかの種類の図書館が含まれている時はそれぞれ数えているので総件数より合計は多くなっている。またこの分類法については, 従来文化部系, 工会(労働組合)系, 教育部系, 中国科学院系という方法がとられる場合もあったが, 現在これらに入れられぬものもあるため, 一応上記のようにした。)

これを見ると, まず最も多いのは学校の図書館, とくに大学の図書館であり, これは1978年~79年にかけての記事である。次は書店の図書室, これは1973年~75年にかなり報道されている。さらに公共図書館, 図書館政策等に関するもの, 農村の図書室の順になっている。このうち公共図書館は平均してのせられているが, 図書館政策に関するものは1978年~79年にかけて増えており, 農村図書室についての記載は, 1973年~75年に多い。いずれにしても, その时期的な変動はあるが, 多種多様な図書館が紹介されている。またここで使われている名称は, いわゆる図書館と称されるものから, 図書室, 資料室, 文化館, 文化室, 文化站, 閲覧室, 読書室, 学習室, 図書流通站, 流動租閱点, 流動図書館, 図書站(ス

テーション), 図書箱, もっと小さなものとして, 図書架, 図書桌, 書欄などがあり, その形態も固定されたもののほか, 図書流動車, 流動租書箱, 流動図書館(巡回文庫)のような方法で運営されるもの, 書店員が交通の不便な地域へ図書を運搬して行き, そこに設けられた読書室で閲覧させるものなどさまざまである。このような多様な形の, 規模も運営方法も千差万別の, 身近かにある図書館から, 人々は図書を利用する便宜を与えられているわけであろう。

II

ところで, 1970年代中国の図書館について考えてゆく場合, 背景となるその時代の政治情勢を, 無関係な存在として切りはなして見ることはできない。当然中国のその時々々の政治, とくに科学, 教育, 文化政策を反映しており, というよりむしろその一環として, 密接なかかわりを持ちながら図書館もまた発展して来ているというべきであろう。ここではそのような政治的推移その他と関連させながら, 全般的な図書館の動き, 概略をまず簡単にたどってみることにする。

II-1

1960年代後半に中国文化大革命がはじまり, その中で1969年4月中国共産党第9期全国代表大会が開催された。1971年9月には, 林彪によるクーデター計画の失敗と失脚。1973年8月に中国共産党第10期全国代表大会が開かれている。同じく8月~9月にかけて孔子批判, 林彪批判のキャンペーンが展開される。これは1974年2月批林批孔の運動へと本格化した。1974年10月儒法闘争に学ぶ運動へと進展, 1975年1月には

第4期全国人民代表大会が開催され、この時に農業、工業、国防、科学技術の四つの現代化政策が提案された。この批林批孔運動および四つの現代化、とくに科学技術の現代化という動きの中で、この時期の甘粛省の図書館の活動状況は注目すべきである。即ち、甘粛省蘭州地区図書館協作（協力）委員会によって、以下のような活動がくりひろげられた。① マルクス・レーニン・毛主席の著作を学習し、批林批孔運動を進めるために数多くの指導報告を行った。② 反修闘争（修正主義に反対する）、批林批孔運動に関する資料索引を編さんした。③ 工業、農業の生産と科学実験に奉仕するため「蘭州地区図書館蔵西文科技期刊聯合目錄」を編印した。このほか、研究者や工農兵の要望にこたえて、図書館間の資料の交流をスムーズにする目的から図書館間貸出証を発行し、この地区の図書資料の検索調査センターの設立の計画がなされ、同時に全国の130余の図書館と資料交換の体制を作ったという。1975年8月水滸伝批判の運動が起こった。⁽¹⁾ 批林批孔運動やこの水滸伝批判の運動に関しての評価、論評等については、今ここではふれないでおく。同年9月～10月にかけて、第1回農業は大寨に学ぶ全国会議が開かれた。1976年1月周恩来総理の死去。4月天安門事件。華国鋒副首相が首相に昇格した。6月に図書館を反修防修（修正主義に反対し、これを防ぐ）の強力な障地にするという見出しで、この時期における図書館の現況を紹介する記事が出ている。その中で、① 中国の各種の図書館は、批林批孔運動とともに、階級闘争、生産闘争、科学実験の三大革命運動に奉仕するため、積極的な活動を行なっている。例えば、思想を宣伝するために、マルクス・レーニン・毛沢東思想学

習室を開設し、学習講座や指導報告を行い、あるいはまた利用者に資料を提供し、さらに教材を編集して大衆に貢献している。② 図書館界は他の関係部門と協力して、中国独自の図書分類法と主詞表（ソールラス）を作成した。③ 図書館の新建築や新しい技術設計研究にもかなり成果をあげている。またこの時期全国各都市の街道（区の下におかれている末端の行政単位）や農村の図書室が急速な発展をとげており、不完全な統計ながらも総数30万個所にもなり、業余図書管理員（勤務時間以外に従事する）の数は100万名を数える。こうして各地に図書流通網が形成されつつあるとの⁽²⁾べられている。同年9月毛沢東主席が死去した。

II-2

10月6日四人組が逮捕され、同月華首相が主席に就任し、これより華国鋒体制へと移行。1976年12月第2回農業は大寨に学ぶ全国会議が開かれている。1977年4月～5月にかけて、第1回工業は大慶に学ぶ全国会議が催された。1977年8月に中国共産党第11期全国代表大会が開催され、そこで第1次文化大革命の終結が宣言された。1978年1月には、広東省哲学社会科学学会が全体（拡大）会議を開き、そこで四人組批判を行ない、今年度の工作計画を討議したが、ここには哲学学会、経済学会、歴史学会とともに、図書館学会も含めて専門家、関係者が300名余り参加したと伝えられている。⁽³⁾ また武漢大学図書館学系理論組による「禁書にみる四人組の愚民政策」と題する記事は、四人組が革命烈士の伝記や革命回憶録、現代の革命文芸図書、外国の文学作品、政治や政治経済学や歴史研究などに関する図書を反動思想であるとか、毒草、

あるいは異端というような名目をつけて読むことを禁じ、大衆をこうした図書、貴重な文化遺産から遠ざけた⁽⁴⁾としている。

II-3

1978年2月～3月にかけて第5期全国人民代表大会が開かれた。ここにおいて今世紀中に四つの現代化を実現する政策を推進することが提示されている。この第1次会議での華国鋒主席による政府工作報告中の、「繁栄社会主義科学教育文化事業」の項では、各種の図書館を發展させ、科学研究と広汎な人民大衆に奉仕する図書館網を組織⁽⁵⁾すると明示されているのである。つづいて3月の全国科学大会で、方毅副総理は科学技術の振興、科学教育の普及を呼びかけるとともに、「全党動員、大弁科学」の項で、次のように報告している。

すなわち科学技術情報図書工作の現代化の実現に努力し8年以内に文献検索センターとデータバンクを設置、科学技術情報図書の機械検索網を形成する⁽⁶⁾。また4月の全国教育工作會議において、劉西堯教育部長は、その報告の中の「新時期教育戦綫的任務」、「努力實現教学手段の現代化」の項で図書資料の充実をはかるとともに図書館建設を強力におしすすめると強調している。これらを受けて、黄舎驕論文は、科学文化水準を高め、四つの現代化を推進し、我国を偉大な社会主義国にするために、図書館の役割を軽視してはならない。四人組による妨害はあったが、現在は図書館は解放され、皆の希望する図書が読めるようになった。閲覧時間などもまた延長され大衆に歓迎されている⁽⁸⁾とし、故周総理の図書館工作に対する配慮と指導という記事は次のように述べる。① 1972年～1975年にかけて、北京大学と北京図書館の新建築に関して、病中

であるにも拘らず専門的な助言を何度も与えた。とくに北京図書館の新館、書庫の増築については、設計計画を自ら審議し検討を加えた。② 我国の文化遺産を重視し、その散佚することをふせぐため、1975年、国家文物事業管理局に対して全国の善本書目録を編輯することを指示した。そのほか③ 1973年～1975年、中国図書進口公司に対して、科学技術發展に役立て、その需要を満たすべく外国の資料を積極的に輸入することを命じている。こうした諸記事に加えて、北京大学図書館学系の史永元は、図書館のネットワークに関する論文を発表した。この間広東省で再び哲学社会科学学会聯合会が開かれ、四人組批判が行われたが、ここには図書館学会を含む六学会500余名が集まった⁽⁹⁾。南京では、全国古籍善本書総目編輯⁽¹¹⁾工作會議が開催されている。これは前にもふれた1975年10月、周総理の出来る限り早い機会に全国の善本の総目録を編さんするよ⁽¹⁰⁾うにという指示にもとづくものであり、このための機構を常設し、「全国古籍善本書総目収録範囲」、「全国古籍善本書総目分類表」、「全国古籍善本書総目著録条例」等の規則を決めた。また一方新しい時期の総任務を実現し、科学研究に貢献し、人民大衆に奉仕するという認識のもとに図書館の役割を自覚し、この任務を果たすため、各種図書館間の一層の協力を強める必要があり、學術交流を發展させ、工作經驗の交流を行う目的をもつ中国図書館学会および全国図書館協作(協力)委員会の早急な設立を決定した⁽¹²⁾とある。1979年に入ってから6月に第5期全国人民代表大会第2次會議が開かれ、ここでも華国鋒主席は政府工作報告の「積極發展科学教育文化事業、加速培養建設人材」の項で図書館事業についてもさらに新しい發展をすべきであ

るとのべている。7月には山西省太原市で⁽¹³⁾図書館学会の成立大会と科学討論会が開催、29省・市・自治区の図書館学会と北京地区の科学研究機関、大学や専門学校の図書館学会の代表約200名が参加した。会上、図書館工作の重点を、四つの現代化に奉仕し、現代化された図書館網を建設すること、また図書館学理論研究を発展させることにおく、という3点が提案された。この大会で「中国図書館学会章程」が採択され、理事長に北京図書館の劉季平館長が選出、機関誌として「図書館学通訊」が発刊されることになった。

また科学討論会では、174篇の学術論文が発表され、交流、討議がなされた。あわせて図書館学関係資料の展示も行われたという。⁽¹⁴⁾

このように1978年～79年にかけて、図書館に関する報道が非常に多くなり、図書館界の動きは活発にまた積極的になって来ている。その任務、役割も更に強く認識されて、機械化の問題に関しても強力に進められることが期待されており、他方あわせて外国の図書館事情の紹介もいくつか見受けられる。これらについては別にふれる予定である。

III

つぎにこの期間の図書館について、その具体的な活動状況等を種類別にみてゆくことにする。便宜的に下のように、

1. 国立北京図書館
2. 専門図書館 中国科学院など
3. 学校の図書館 大学、中学、小学校
4. 公共図書館 省、市、県、区のレベル
5. 都市の街道の図書室
6. 軍隊の図書室

7. 工場の図書室
8. 農村の図書室 人民公社など
9. 書店の図書室

の9種類に分けてこの順にとりあげた。勿論各種類の図書館が年代毎にバランスよく掲載されているわけではないし、時期により種類により偏りがあるので、これによって一つのまとまった中国の図書館の全体像が作りあげられるとか、中国の図書館について系統的に説明できるといったものではないが、少なくとも、その時代の政治を種々の形で投影した図書館のあり方、実情の一端を例示しており、あるいはそこから部分的にでも図書館像をとらえることができるのではないかとと思われるのである。

III-1

国立北京図書館については、1977年以降の現況が次のように紹介されている。このところ北京図書館には、閲覧者が早朝から開館を待って来館し、連日満員である。四つの現代化、とくに科学技術の現代化の呼びかけにこたえて、自然科学技術資料の利用者が増大し、研究機関の研究員は昨年同期の40%増、貸出冊数は16%増え、部隊や政治機関所属の来館者は24%の増加である。さらに、外国の科技関係の期刊閲覧室は20%増えた。また、ここへは全国20余りの省や市、自治区から研究員や技術員、教師などがやって来る。青少年のために設けられた第二閲覧室も毎日満席で、数学や物理、化学等の基礎知識に関するもの、初歩的な科学技術関係の図書が不足するほどである。このような科学技術部門の需要、閲覧者の要求に応じて閲覧時間を2時間延長、外国科技関係資料の購入をふやし貸出図書の範囲を拡げ、同時に自然科学の講座や外国語新書の展示を行ったりしてい

る。一方では、四人組によって長い期間閲覧⁽¹⁵⁾禁止になっていた内外の図書がひろく開放された。科学技術関係雑誌は3,000種が開架、社会科学関係は一部の関係部局へまわされる図書を除いてすべて閲覧に供されており、文芸方面では外国文学に関しては、例えば「ボヴァリー夫人」、「ジャン・クリストフ」、「戦争と平和」、「アンナ・カレーニナ」、「トム・ソーヤの冒険」、「アンデルセン童話集」、「シェークスピア戯曲集」、「ドン・キホーテ」、「神曲」等、日本のものでは「坊ちゃん」、「小林多喜二選集」など各国のものが含まれている。中国の古典文学では、「関漢卿戯曲集」、「花間集」、「西廂記」、現代文学では、「屈原」、「子夜」、「雷雨」、「日出」、「駱駝祥子」等である。このように科学技術の現代化政策に呼応して⁽¹⁶⁾科技関係資料の充実やその他の各種活動による科学研究に対する貢献、四人組後に大量の内外図書が開放されたことが最近の状況として述べられている。

III-2

中国科学院に関しても、1977年以後のみであるが、ここにおいても同じく科学技術の現代化政策を反映して、1977年以来利用者が前年比70%増加し、貸出図書の冊数は40%ふえている。中国科学院図書館は、いうまでもなく、科学研究工作に直接奉仕する部門であり、四人組の時代もほぼ平常通り図書管理その他業務を続けていた。本図書館の任務は、科学研究者に資料を提供し、レファレンス・サービスを行い、国内外の科学関係の情報を交換すること、また現在77カ国の1,000余機関と資料の交換を推進し、同時に外国資料の購入をすすめる、これらの資料の展示会を開催すること等である。こうした業務の改善をはかるため

に、利用者、研究者との交流の機会を持ち、学術討論会や報告会に参加し、さらに自然科学分野の各種刊行物を編さんし出版している。その他総合的なあるいは主題別の書目索引を作成、コピーサービスや外国科学技術資料の翻訳も積極的に行っている。中国科学院図書館図書分類法は、すでに自然科学部門について⁽¹⁷⁾修訂版が刊行されたが、現在社会科学部門が印刷中である。このような各種業務を通じて、中国科学院図書館は、三大革命運動に奉仕、科学技術の現代化、科学部門の利用者に対して貢献しているということである。中国社会科学院（これは1977年5月中国科学院から哲学社会科学部が分離独立したもの）については、四人組批判の座談会を開き、100余人の工作者が出席したこと、長年にわたって蓄積された研究資料や図書が被害を受け散佚し、多くの研究工作在⁽¹⁸⁾停止したことなどが報告されている。

III-3

学校図書館の記事は、小学、中学、大学の例があるので、それを示すと、遼寧省の向陽小学では、教室の一隅に毛主席思想著作、革命故事、英雄人物連環画（絵ものがたり）、自然科学知識に関する図書のコーナーを設けて、放課後にグループあるいは個人で借り出して家へ持ち帰って読める様にしている。⁽¹⁹⁾また広東省の紅旗小学では、教師と生徒が儉約して、最近2,000冊の新刊書を購入し、図書館の充実をはかり、また生徒たちが自分で切りぬきや製本作業をしたり貸出しを行ったりしている。このようにして生徒の課外読書指導やその活動を強力にすすめることが、教室内の授業にも役立っているということである。山西省⁽²⁰⁾の新絳中学では、図書館員が5万冊余りの

図書进行分类順に排架し、カード目録を作成するなどして教師と学生が本を探す時間を省き、新刊書や参考図書が入ると黒板で紹介し、図書が効率よく利用されるよう作業を行っている。大学については、上海師範学院⁽²¹⁾の場合をみると工農兵学生に対して、積極的に図書の貸出し業務を行い、書評活動を推進している。これは読んだ本の感想なり批評を3,000~4,000字位に要約して書き皆で討論し、それがある程度たまとあつめて発表し、さらに多くの読者の意見を聞くという方法で、それによって、マルクス・レーニン・毛主席思想を正しく理解し、革命思想を高め、良い図書と悪い図書を識別する力を養うことができるようになる。武漢大学でも広汎な工農兵学生の書評グループ⁽²²⁾ができ掲示板に書評をまとめて掲示する。良書を推薦し悪い本を批判し、思想を宣伝する。批林批孔運動の時期、遼寧師範学院⁽²³⁾においては、儒法闘争史を研究し、批林批孔をすすめるために閲覧室、資料室を開設し工農兵学生に対して資料を提供するなどのサービスを行っている。このように学校の図書館といっても、小学校、中学校、大学とあるが、この図書館というものが、課外活動教育の場として考えられており、小学校や中学校では、図書館は生徒の手により運営されている場合が多く、館外貸出をひろく、積極的に行なって革命思想を学ばせ、科学知識を身につけさせる。また書評活動により文章を書く能力を高め、本の内容を分析し正しく理解できたかを討論し、良書と悪書の区別ができるようになるなどの成果を収めているとしている。

III-4

公共図書館の現状については、以下に示すような例があげられる。南京図書館で

は、積極的に三大革命運動、科学研究に奉仕しているが具体的な活動として、地域の街道、工場、機関、学校、科学研究機関に入って調査をすすめ、図書利用上での皆の意見を求めて、業務の改善をはかっている。またマルクス・レーニン・毛主席思想学習室の設立や拡充、思想、科学技术関係資料の索引を作り、貸出業務を活発にし、書評活動や報告会を開いている。天津市人民図書館でもこうした事情は殆んど同じで、図書評論活動を行い、工場や農村に行き図書室設立を援助し、必要な図書資料を貸出している。また科技関係の資料の展示会や学術研究成果の交流会を開催するなど技術革新、科学研究の向上に貢献するところも大きいという。批林批孔運動の時期⁽²⁶⁾における各図書館の動きについては、福建省図書館、河南省図書館、通化市図書館、上海図書館の例が報道されており、それによれば、工農兵閲覧者のために、マルクス・レーニン・毛主席の著作に関する参考資料を提供し、各種テーマの講座を開き読書経験の交流をし、利用者の要望を聞き業務に役立てる。批林批孔関係資料の切りぬき⁽²⁷⁾を作成し、特輯を編さんし、毛主席思想や批林批孔運動の資料を工場や農村、部隊へ送る。儒法闘争史の故事を語るという形で皆にひろめ運動を浸透させてゆく。また展示会や資料紹介を行っている。儒法闘争⁽²⁸⁾に関する書目索引を作り指導講座をもつほか、図書流動車で270余りの人民公社大隊の図書室へ資料をとどけている。その他湖北省図書館や昆明市の区文化館⁽²⁹⁾では、それぞれ農村工場の図書室建立への協力、図書箱を作って図書を送りとどける、すすんで農村へ行きそこで交流会や指導のための講座を催して業余図書管理員の養成をはかっているとのことである。四人組以後の記事とし⁽³⁰⁾

ては、上海図書館に所蔵されている1930年代の図書資料の中に、四人組が魯迅や中国共産党、革命人物を攻撃したものが保存されているのを彼らが知り、同図書館の徐家匯にある書庫を封鎖し、またこの事実を知っている職員に迫害を加えたことである。湖南省図書館では、四人組によって禁止されていた大量の図書が開放され、コピーサービス、閲覽時間の延長等が行われている。同じく貴州省図書館でも多くの資料が開放されて、書評活動が盛んになっているという。北京市の各区の公共図書館では、閲覽時間の延長、貸出方法の改善、閲覽室の拡大などにより利用者に歓迎されている。このように公共図書館の諸活動が示されているが、こうしたさまざまな役割のうちでも、街道や農村、工場、部隊に働きかけて図書室の設立を援助し、資料を積極的に供給するということは、その中でも主要なものであろうと考えられる。

III-5

街道の図書室の記載によれば、上海市の街道では、休暇で戻って来ている下郷知識青年の教育のために、図書を提供しており、長沙市の少年の家では、児童の課外活動教育の場の一つとして、閲覽室内に革命図書をそなえ、革命故事物語をはなして聞かせるなどしている。批林批孔運動の時期の例では長沙市の街道の報道が比較的詳しい。1972年の3、4ヶ月の間に非常に多くの街道図書室が作られた。毎日1万人の利用者があり、地域の青少年に革命教育、革命思想を宣伝するための良い場所である。ここでは批林批孔関係資料を提供し読書会や革命故事を話す会を開き、下郷した(地方へ労働に出ている)知識青年に手紙をかいてはげまし、農村に科学技術関係の資料をと

どけるなどの活動をしている。図書の管理には、専業のものが100人、業余のものが500人、計600人がこれにあたっているが、この管理員の中には退職労働者もあり、彼らは旧社会で被支配階級として苦しんだ経験をもつものであるから、単に図書の貸出しをするだけでなく、青少年に生きた革命の歴史、階級闘争の歴史を教える指導員の役目も果たすることができるのである。天津市の街道の場合は、1971年までは91の街道にわずか1個所しかなかった図書室が現在90個所に増え、蔵書も38万7,000冊を持つに至った。この街道図書室は、街道の居民委員会や工場その他の場所に、それぞれ図書ステーションを設置してそこへ図書を配っている。これら工場の技術発展、水準の向上に寄与するため、科学技術関係の資料を増やし、また批林批孔運動関係の資料を収集し、そのためのコーナーを設けたり、学習指導を行ったりしている。武漢市の街道でも、一つの中心図書室があり、これに14の図書グループが組織され、毎日1万冊の図書が読者に閲覽されており、その他青少年知識青年のための指導や座談会を開くなどの活動をしている。再び天津市では、全市の工場や学校、街道に図書室が設立されさらにこれらのほかに800個所の図書ステーションが設けられた。農村では生産大隊に3,000個所近くの図書室が作られ、これを合計すれば全部で8,900個所余りのいわゆる基層図書館が建立されたことになる。各種の図書は合わせると1,000万冊を越え、こうした図書館は、相互に協力体制を持ち、資料を供給し合い、同時に図書館員同士の交流も計っている。三大革命運動に奉仕し、毛主席思想の学習、革命思想の高揚に貢献するため、新刊書の展示、書評活動、批林批孔関係資料を収集、整理、教

材を編さんして読者に提供し、とくに青少年の教育の場として重要な役割を持っているという。
(40)

III-6

軍隊の図書室については、次のような記事が掲載されている。マルクス・レーニン・毛主席著作や政治、歴史、文芸読物など軍隊の兵士を対象とした出版物がかなり多く刊行され、いくつもの連隊に図書閲覧室や流動図書箱が設けられて、革命図書を閲覧する活動が盛んになって来ている。これは連隊の文化生活の向上に非常に良い影響をもたらしている。さらに一層閲覧工作をよりよく行うために、以下の通達が出されて、そこに4項目の要望が記されている。① 軍隊の訓練、各任務の指導と共に、革命伝統故事(物語)を話し、座談会を開いて読書の経験を出し合う、また政治、文化についての各主題の専門講座を開催し、それらによって継続革命への覚悟、思想建設をはかる。② 図書室や流動図書箱を設置して、公用の図書や雑誌を陳列し、そして保管する。そのほか毛主席著作、軍事、政治、歴史、哲学、経済学、自然科学、技術関係の図書を広く提供し、またこれは、地方や辺境の地、海防にたずさわっている部隊に対しても配慮されねばならぬ。

③ 連隊に配られた資料はすみやかに利用に供されるようにしなければならない。利用規則を作り、整理、管理し、散佚を防ぐようにすべきである。④ 革命思想を高揚し、隊員が悪書を読み、思想が低下するのを防止するという内容のものである。
(41)

III-7

工場の図書室に関してもいくつかの例がのせられているが、北京第二棉紡績工場で

は、900余名の青年労働者が117の業余読書グループを組織して、マルクス・レーニン・毛主席著作を学習し、閲覧室を開設して、交代で管理にあたっている。広西壮族自治区の機械工場でも、同じく労働者の要望によって、マルクス・レーニン・毛主席著作や革命文芸作品、新聞や雑誌をそなえた図書室を設け、週二回夜間と昼休みの時間について貸出業務を行っており、業余時間が有効に利用されている。漢陽軋鋼工場では、革命文芸図書を読み、図書評論グループを作って評論活動を行っている。この書評は座談会で討論され、黒板に発表、あるいはまとめて印刷して配られる。

こうした活動は、革命思想を高揚し、文章を書く能力を訓練するのに効果をあげている。また清江光学儀器工場の場合も、革命図書を読んで皆で学習会を開き、体験を話し合う。南通国棉第三工場では、最近、マルクス・レーニン・毛主席著作やその他の読みものが、5,000冊余り増加し、雑誌は40種購入した。労働者の業余時間を有効に活用させるため、常に新刊書紹介を行ったり、評論活動を盛んにすすめている。

批林批孔運動期の記事として湖南省株洲市内のいくつかの工場の実例があるが、ここでも労働者の手によりまず図書室が作られている。そこで批林批孔運動に関する図書の専門閲覧室を設立し、関係資料の書目や索引を編さんし、切り抜きを作成したりしている。また一方では、科学技術についての資料コーナーを設け、テーマ毎に新しい技術関係の図書や資料を紹介し、それぞれの工場の技術研究の需要に応じて図書を揃えたりしている。その他夜間の学校で学ぶ労働者のために技術関係の資料を与え、教材の編集等にも協力し、また知識青年のために図書を提供している。撫順石油第三
(47)

工場においても同様に、図書評論や革命物語を話し、批林批孔関係の資料室を作り、幻灯を上映したりという活動がくりひろげられている。工場の図書室というものは、⁽⁴⁸⁾ 業余教育の一環として、労働者の余暇の時間を有益に利用させるのに役立っている。こうした図書室は、労働者の要望によって設置されるケースもかなりある。図書の閲覧、貸出を積極的に行い、図書評論活動を活発にし、学習会では皆が討論に参加する。思想の学習と同時に図書に対する識別力を養う。またその工場の技術開発や技術の向上に必要な科学技術関係の資料を購入し、利用者に供しているのである。

III-8

農村の図書室の記事は、1973年～1975年にかけて多く紹介されている。その中から例をいくつか示してみると、江蘇省の長紅大隊では、これまでばらばらになっていた資料を、皆の力で図書室を開設してからは、まとめて管理し、人々が図書室で本を読むようになり、読書、学習によって知識を深め、生産を高めるのに役立っている。この図書室には、毛主席の著作や各種雑誌、連環画、科学技術、政治関係の資料を備えており、さらにそれを充実させ、各生産大隊を巡回して貸出しをしている。上海市⁽⁴⁹⁾の葛隆大隊でも知識青年たちが県の図書館や人民公社の文化站（ステーション）が遠くて不便なため、自分たちの手で図書室を設立した。業余時間を副業生産労働に従事して、その収入を図書購入費に充てている。図書館ができてから青少年たちは座談会を開き、読書体験の交流をするなど、余暇の時間を有効に使っている。⁽⁵⁰⁾ 広西壮族自治区の拉城大隊では、革命図書を増やし、同時に病虫害予防等農業技術や医療関係図

書を揃えて、皆が大いに利用し、生産活動の向上、科学知識の普及につとめており、農村における三大革命運動に貢献している。湖南省新化県では、県の図書館や新華⁽⁵¹⁾書店などの協力のもとに図書室や流動図書站（ステーション）を建立し、革命思想、毛主席著作、革命文芸作品、科学知識を学習させ、書評活動を盛んにし、読書座談会を催して、大衆や下郷知識青年のために教育の場を与える等の活動をしている。同じく湖南省醴陵県の例としてまとまった報告があるが、それによれば、同省の竹花山大隊ではこれまで図書室がなく、人々はもて余した時間を悪書に親しみ、革命運動にも生産活動にもこれが悪影響をおよぼしていた。1971年冬、14個所に図書室が作られて、そこに1,200冊の革命図書を置き、皆が学習するようになったが、そうしたことによって革命思想を高めることができ、生産向上に貢献している。この様な経験により農村図書室の存在意義が認識され、現在県内の676の生産大隊に5,847の生産隊があるが、図書室は1,097個所に設けられて、その蔵書合計は15万冊余を数える。これは、党委員会が、県の図書館を主体として、新華書店や供銷社を参加させ、そこへ人々を組織して人民公社や生産大隊へ働きかけて、図書の発行を促し、大衆の学習指導をして図書室設立工作を行った結果急速に発展したものである。この図書室は、公社員の住宅の一室であったり、あるいは衛生室の一隅、場合によっては役所の一室を利用したりしている。図書は ① 現在皆がもっているものを相互に融通しあう。② 公益金の一部を充てて本を買う。③ 県の図書館から借りる。④ 青少年の業余時間内労働の収入を使って購入する。⑤ 生産大隊と生産隊の図書間で交換して利用する。な

どの方法で調達している。管理には、業余管理員がこれに当たり、農閑期には皆が集まって読書し、農繁期には、個人貸出を主とするという方式がとられ、図書館の組織活動は、業余(労働時間外)、自願(自発的自由意志)、小型(小規模)、多様(一つのわくにはめないで融通性をもたせる)を原則としている。実際の活動の主眼としては、① 思想と政治路線教育を組み合わせ、正しい読書学習を進めるために大衆を組織する。② 読書と革命故事を話すという方法を結合して、思想教育面にこれを拡大してゆく。③ 学習経験を話し、書評活動を展開し、悪書を批判し革命思想を宣伝する等の点⁽⁵³⁾があげられている。河北省遼西県では、図書室が農村の文芸宣伝隊と連けいを持ち、革命歌曲や演しもの参考になる材料を提供している。批林批孔運動の時期には、遼寧省の漁村⁽⁵⁴⁾の図書館では、関係図書を増やし読者の利用に供している。

吉林省でも批林批孔運動⁽⁵⁵⁾に関する読書会、座談会、報告会を開き、また生産闘争に役立つ読書活動を行っている。天津市小靳庄大隊では、儒法闘争に関する資料⁽⁵⁶⁾を閲覧者のために積極的に供給し、同時にマルクス・レーニン・毛主席思想関係の参考書目や索引を作成し、その他水利や農業技術関係の図書を増加し、農業生産の発展に助力しており、また村の学校に図書ステーション⁽⁵⁷⁾を設立し、革命図書を読ませるなどの協力をしている。そのほかこの運動期間中、北京市郊区⁽⁵⁷⁾の農村図書工作の指導が強化されて、マルクス・レーニン・毛主席思想の宣伝、批林批孔関係図書の購入、批林批孔運動資料を編さんをし、図書評論活動をすすめており、科学技術知識を高めるため、農業技術者やはだしの医者(短期訓練を受けた医療従事者)、電気技術者等さま

ざまな人々が関係資料を利用している。以上農村の人民公社の図書室⁽⁵⁸⁾についての報道は多いが、ここにあげなかったものも大体その内容や活動は上に示した例のいずれかに該当しているようである。なお四人組以後の記事は現在のところ比較的少ない。

III-9

図書館に関する記載のうち、学校の図書室に次いで多いのが新華書店とそこに設けられた図書室についてのものである。ただしこれも1973年～1975年に集中しているのが特色である。ところでこの書店の図書室という場合、農村部では、新華書店が供銷社(販売協同組合)と協力して、人民公社や公社内の学校や工場に図書室を設立するのを援助したというケースが大部分なので、これは本来農村の図書室へ入れるべきものであろう。しかしここでは新華書店の活動を中心にして記されているケースが多いのでひとまず書店の図書室の方へ分類した。これを都市部と農村部に分けてみてゆくと都市部では上海の新華書店が、1973年5月23日に「延安の文芸座談会における講話」発表31周年を記念して書店の一角に閲覧室を設けた。そこでは1,000冊の図書をえらび閲覧者に提供している。また附近の工場、商店、学校や街道の人々に対して貸出証を発行して、図書貸出業務も行っている。この半年に14万人の読者があり、毎日700人が利用している。これにつづいて上海の他の9個所の書店も閲覧、貸出をはじめた。このようにして新華書店の閲覧室は大勢の工農兵読者の読書、学習に便利な条件を作り出した。2年の間に閲覧室は各地域⁽⁵⁹⁾にひろまって、北京ではすでに800個所、上海でも大多数の書店が開始し1日15,000冊の図書が貸出されている。天津市では、

利用者がこの一年に12万人に達し、これは天津市人民図書館の年間貸出総人数の約60%にあたっているという。この閲覧室は多くの青少年をひきつけ、革命図書を読ませ、思想を学習し進歩させるのに効果をあげている。批林批孔運動期には、関係図書2億冊余りが工農兵向けに発行され、それを閲覧室で読者が借りて読んでいる。また批林批孔運動の切りぬきをまとめたり、⁽⁶⁰⁾ 故事を話す会を開いている。北京市のように、⁽⁶¹⁾ 児童を対象に読書会や座談会を催し、そこで正しい読書指導をしているところもある。一方農村における新華書店と供销社⁽⁶³⁾の役割をみると、人々の要望にしたがって書店の流動図書供応員といわれる職員が、交通の不便な農村の人民公社や公社の中の学校、工場へ直接図書を運んでゆく。また⁽⁶⁴⁾ 内蒙古自治区の砂漠地帯へもどけており、これは流動書店ともいわれている。そこで⁽⁶⁵⁾ 皆がどういふ図書資料を必要としているのかを聞き、話し合い、それによって図書を発行するための参考にする。実際にはこれらの農村では、工業、農業技術関係書が人々から非常につよく求められている。⁽⁶⁶⁾ また人民公社の大隊や学校の図書室の開設に協力して、そこへ図書をどける。従って農村向けの図書の発行がさらに促進される。しかも学校や大隊の図書室は、下郷知識青年にとっても、革命理論を学び、農業知識を深め、文芸図書を読むというように余暇の時間を有益に使う場所となる。批林⁽⁶⁷⁾ 批孔運動の時期に関係図書が大量に刊行されて、農村においても大隊の図書室で閲読され、運動が展開されて行った。その他各⁽⁶⁸⁾ 自治区で各国語版の図書たとえば、藏文<チベット語>、蒙文<蒙古語>、維文<ウイグル語>の図書を出版して各地域へどけ、文化室、読書室を設けてそこで読ませ

る、読書講座を開くなどの活動もしている。書店というものが単に図書を発行し、⁽⁶⁹⁾ 店頭で販売するだけでなく、積極的に書店員が交通の便の悪い僻地へ自転車、あるいは駱駝の背にのせ、カゴに背おって皆のところまで図書を運搬して行く。読書会を開き、そこで読書指導をするという中で人々と交流をし、希望されている図書が何であるかを把握して図書刊行の際の参考にし役立ててゆく。文化を都市にだけ偏在させずに辺境の地にも普及させてゆくという役目も持っているのであろう。

IV

これまでごく大まかに、紙上に報道された限りでの各種図書館について、そのあらましをたどって来た。中国文化大革命から批林批孔、水滸伝批判という運動の経過の中で、現在から見れば、これが例えある一期間の動きであったにせよ、図書館もその時点では、多かれ少かれ影響を受けながらそれぞれの時期の政情に対応した活動をしていることが分かる。農村の図書室や街道の図書室は文化大革命中急速に増加したものであり、書店の図書室もその中で生まれた新しい形のものであるといえようが、これらの図書室では、既存の公共図書館や工場の図書館、学校の図書館と共に批林批孔、儒法闘争、水滸伝批判など関係資料の収集や、目録索引、資料集の編さんをし、切り抜きの作成、資料の展示会や座談会、報告会を行っていた。その後の四人組批判の時代では、北京図書館や中国科学院、いくつかの公共図書館、大学図書館で、禁止本が公開され、四人組批判に関する目録索引、切り抜き等を作り、批判の集会を開催したなどの報告があるのはすでにのべてきた通

りである。しかしその時々このような政治の動静とは別に、この動きを越えたところにある図書館の目標、本質的な役割というものも存在しているのである。継続革命をおし進め、階級闘争、生産闘争、科学実験の三大革命をくりひろげる。修正主義に反対し、人民大衆へ奉仕する。科学文化水準を高めるために貢献するということ、さらに農業、工業、国防、科学技術という四つの現代化、とりわけ科学技術の現代化を今世紀中に達成することが強調されており、図書館もまたこうした任務を担ってすすむべきであるといわれているのである。これは図書館の種類や規模の大小を問わず基本的にかわらないものであろう。このようなすべての図書館にも共通した項目がある反面、また一方では、それぞれの図書館のもつ性格なり特色なり、役割分担というものもいくつか出て来る。

IV-1

こうした事項をここでもう一度個々に整理しまとめてみると、① 役割、任務としては、上にのべた目標を実現するために、マルクス・レーニン・毛主席思想を学習させ理解を深め、思想を宣伝する。また科学技術知識を学ばせその普及に役立て、水準を高めてゆく。学校の図書館は学生の課外活動のための場であり、工場や農村、街道の図書室は青少年、下郷知識青年、工農兵のための業余教育活動の場として、軍隊の図書室は、隊員の文化向上の場として、この様な目的に従って有効に利用されている。② 設立について、このような図書室が、大学の図書館や公共図書館は別として、小中学校、工場、農村、街道においては、皆の要求、またはその必要によって自発的に人々の手で設置されている。農村の

場合、人民公社の社員の力で、あるいは公共図書館、直接には県の図書館であることが多いが、それと書店の協力によって、まず組織が設備に先行して作られるケースが多々ある。③ 資料に関して、備えられているものはマルクス・レーニン・毛主席の著作であり、革命文芸図書、革命故事物語、連環画であり、また農業、工業技術関係書、雑誌等である。とくに工場の図書館の場合、その業種により技術発展に役立つ資料を揃え、農村の図書室では、農村の医療、農村技術関係書を収集している。学校図書館では授業のための参考図書を提供し、さらに公共図書館は、これらの図書館全般の要望に応じられるものを購入しているのである。蔵書の数は、農村や街道の小さな図書室の場合 200 冊とか 500 冊位のささやかなものから大きいところで 5 万冊位というところもあり、一概にはいえないが、これらの資料については、業余労働で得た収入をその買う費用にあてることもあり、種々な方法で融通し合っている様である。が概していえば、有機的な各種図書館網を通じ、図書が相互に供給されることによって人々は必要な図書を手に入れている。つまり都市の公共図書館は、工場、学校、街道、農村の人民公社の図書室に巡回文庫を出して資料をとどける。人民公社の図書室は、さらに生産大隊や生産隊の図書館（ステーション）へ本を送るのである。また書店も図書を積極的に運搬する。ある時は工場の図書室から街道へ巡回してゆくこともあり、こうした図書館網により都市や農村の人々はすみずみにある、あらゆる場所に設けられた図書室あるいは、図書站から図書の貸出しを受けることができる。図書室の管理には、専任の職員があたっているとこもあるが、一般的には業余管理員や退

職労働者が従事しているところも多い。

④ 活動の面では、貸出業務を積極的にやっているほか、資料目録索引の編さん、各主題の目録、資料集、切り抜きの作成、夜間学校の学生のために教材を編集したり、資料の展示会や新刊書の紹介、図書評論活動をすすめている。学術交流会、読書経験の交流会、革命故事を語る会、報告会、学習会、座談会、討論会、各種の講座といった集会を開催する。その形式、内容は多少違うが、いずれにしるこのような会合を開いて、そこへ人々が集まり、読んだ図書をもとに皆が検討をする。図書館は本を読む場所であるだけでなく、実践の場でもあるということだろうか。こうした方法で文化の都市偏在をさげ、全体の科学文化水準を高めてゆくというのであろう。

IV-2

1978年に入ってから、とくに2月～3月には第5期全国人民代表大会が開かれて、政府工作報告が華国鋒主席により発表され、3月の全国科学大会での方毅副総理の報告、4月の劉西堯教育部長の全国教育工作会議における報告が出され、新しい時代の図書館像、あるべき図書館の姿が示されていることは前にもすでにふれた。ここで図書館事業は科学教育文化事業の一つの構成要素であるという認識のもとに今後の図書館のあり方、課題といったものが考えられて行かねばならない。上に出された各報告をとりまとめるならば、① 各種図書館を発展させて図書館ネットワークを組織し、協力体制を強化してゆく。② 図書館建設を強力にすすめ設備の現代化をはかる。③ 各種図書資料の充実。④ 科学技術情報図書工作の現代化、機械化、機械検索網の形成ということになるだろう。四人

組批判が行われ、その後四つの現代化を推進してゆくという政策の中で、いま、図書館は一層図書館網を強力にひろげてゆき、図書貸出しの面ばかりではなく、連合目録の作成などの協力作業も行なっている。また新しい図書館の建築計画も出され、外国の科学技術関係資料の交換や購入、各地での展示会の開催、外国の文学書等禁止本の公開などがなされた。機械化についても、関係資料の収集につとめ具体化すべく検討、研究中である。その一方古書籍の整理、収集、目録の編さんにも着手し、古為今用、洋為中用の精神は、図書館でもごく当然のこととして実行されている。1979年7月には、中国図書館学会の成立大会が開かれた。その後「四つの現代化建設中における図書館の地位と役割を充分に重視せよ」という論文が発表されて、図書館、および図書資料の重要性を説き、中国の図書館のたち遅れている現状、そして新たな発展のための具体的方法がそこで提示されている。このような情勢⁽⁷⁰⁾の中で、中国の図書館界は新しい段階を迎えており、総じていえば、それぞれの図書館がそれなりの立場を活かしながら、全体的には、共通の大きな目標の達成、実現に向かって進展しはじめているとみてよいのではないかと思われる。1978年後半から1979年にかけてのこの1年余の間の図書館に関する記事は相当多く、これについては最初におことわりしたように、改めて詳しくのべてみたいので別の機会にゆずる。

註

- (1) 「蘭州地区図書館協作委員会開展図書協作活動」(光明日報 1975.7.7)
- (2) 「把図書館弁成反修防修的強堅陣地」郭維國(光明日報 1976.6.5)
- (3) 「广东省哲学社会科学学会联合会举行全体

- (擴大)會議」(人民日報 1978. 1. 21)
- (4) 「從禁錮圖書看“四人幫”的愚民政策」武漢大學圖書館學系理論組(人民日報 1978. 2. 4)
- (5) 「團結起來，為建設社會主義的現代強國而奮鬥——一九七八年二月二十六日在第五屆全國人民代表大會第一次會議上的政府工作報告」華國鋒(人民日報 1978. 3. 7 および光明日報 1978. 3. 7)
- (6) 「在全國科學大會上的報告 一九七八年三月十八日(摘要)」方毅(人民日報 1978. 3. 29 および 光明日報 1978. 3. 29)
- (7) 「在全國教育工作會議上的報告 一九七八年四月二十二日(摘要)」劉西堯(人民日報 1978. 6. 12 および 光明日報 1978. 6. 11)
- (8) 「從列寧重視圖書館談起」黃含驕(光明日報 1978. 5. 18)
- (9) 「信任，鼓勵和鞭策——憶周總理對圖書館工作的關懷和教誨」中國科學院圖書館 辛柯(光明日報 1978. 4. 17)
- (10) 「發揚“五四”光榮傳統 繁榮社會主義科學文化——北京大學舉行“五四”科學討論會」(光明日報 1978. 5. 20)
- (11) 「廣東省哲學社會科學學會聯合會揭批“四人幫”破壞理論戰線的罪行 決心正本清源撥亂反正肅清“四人幫”流毒和影響——歷史學會的同志會上批判廣東省某教授的影射史學」(光明日報 1978. 4. 24)
- (12) 「繼往開來，古為今用——全國古籍善本書總目編輯工作會議在南京舉行」中國科學院圖書館 辛柯(光明日報 1978. 6. 9)
- (13) 「政府工作報告 一九七九年六月十八日在第五屆全國人民代表大會第二次會議上」華國鋒(人民日報 1979. 6. 26 および 光明日報 1979. 6. 26)
- (14) 「加快現代化圖書館事業建設為四化服務——中國圖書館學會舉行成立大會和科學討論會」肖自力(光明日報 1979. 7. 25)
「發展圖書館事業 積極為四化服務——中國圖書館學會成立大會和圖書館學科學討論會在太原舉行」馮水平(人民日報 1979. 7. 28)
- (15) 「北京圖書館裏的新氣象」(光明日報 1977. 10. 10)
- (16) 「狠批“四人幫”文化專制主義，“文芸黑線專政”論 北京圖書館開放大批中外圖書」(人民日報 1978. 1. 7)
- (17) 「一切為了科學第一線——中國科學院圖書館紀事」(光明日報 1977. 11. 23)
「以實際行動迎接科研工作新的大躍進」中國科學院圖書館(光明日報 1977. 12. 28)
- (18) 「肅清“四人幫”流毒發展哲學社會科學」(人民日報 1978. 3. 2)
- (19) 「指導學生的校外閱讀」(人民日報 1971. 7. 7)
- (20) 「弁好圖書館」廣東省揭陽縣教育革命調查組(人民日報 1970. 9. 7)
- (21) 「圖書館工作為提高教學質量服務」(光明日報 1977. 11. 10)
- (22) 「弁好圖書館認真組織學生自學——社會主義大學應當如何弁？」上海師範大學教育革命組(人民日報 1972. 11. 23)
- (23) 「書評是指導閱讀的好形式——社會主義大學應當如何弁？」武漢大學圖書館(人民日報 1972. 11. 23)
- (24) 「遼寧師範學院圖書館實行開門弁館 為工農兵理論隊伍批林批孔服務」(光明日報 1975. 1. 8)
- (25) 「弁好圖書館 為三大革命運動服務——南京圖書館 注意轉變作風，廣泛徵求群眾意見，改進管理工作」(人民日報 1972. 4. 24)
「不斷提高路線鬥爭覺悟，積極為三大革命運動服務——天津，南京圖書館認真做好圖書工作」(光明日報 1972. 4. 25)
- (26) 同上
- (27) 「福建省圖書館認真做好圖書管理工作，積極為看書學習批林整風運動服務」(光明日報 1973. 11. 5)
「福建省圖書館職工認真看書學習提高路線覺悟，搞好圖書管理工作為批林整風服務」(人民日報 1973. 11. 10)
- (28) 「熱情為工農兵深入批林批孔服務——河南省圖書館和通化市圖書館積極開展圖書資料工作受到歡迎」(光明日報 1974. 8. 29)
- (29) 「上海圖書館適應鬥爭需要 採取多種措施方便工農兵讀者」(光明日報 1974. 12. 13)
- (30) 「湖北省圖書館積極為工農兵理論隊伍服務」(人民日報 1976. 6. 18)
「昆明市官渡區文化館把圖書工作的重點放在農村」(光明日報 1975. 7. 7)
「把更多的革命圖書送到農村」(人民日報 1974. 1. 15)

- 「北京市海淀区圖書館面向基層 協助五·七農民政治學校建立圖書閱覽室」(光明日報 1974. 12. 13)
- (31) 「把“四人幫”的罪惡歷史暴露在光天化日之下——上海圖書館工作人員憤怒控訴“四人幫”妄圖掩蓋其反革命歷史，瘋狂鎮壓群眾的滔天罪行」(光明日報 1977. 3. 2)
「罪惡歷史掩蓋不了 殘酷迫害也是徒勞——上海圖書館工作人員 憤怒控訴“四人幫”為了掩蓋張春橋，江青在三十年代反共反人民革命的老底，大搞白色恐怖，瘋狂鎮壓革命群眾的罪行」(人民日報 1977. 3. 2)
- (32) 「湖南省圖書館開放禁錮的圖書」(人民日報 1978. 4. 7)
- (33) 「貴州圖書館建立讀者評書隊伍——發動群眾分析鑑別 加速開放圖書」(光明日報 1978. 4. 15)
- (34) 「圖書館大有潛力可挖——北京市公共圖書館見聞」(人民日報 1978. 5. 6)
- (35) 「做好回城探親知識青年的工作」中共上海市普陀區 中山北路街道 委員會 (光明日報 1973. 1. 19)
- (36) 「歡樂的少年之家」(光明日報 1973. 1. 31)
- (37) 「教育青少年的好場所——湖南省長沙市街道圖書室調查」 湖南省長沙市文化局 (光明日報 1973. 10. 17)
- (38) 「天津市街道圖書館迅速發展——用無產階級思想占領城市思想文化陣地」(光明日報 1974. 6. 12)
- (39) 「社會主義圖書組占領思想文化陣地——漢正街上的九件新事」(光明日報 1975. 4. 4)
- (40) 「天津市基層圖書館辦得好 全市已升起八千九百多個基層圖書館(室)，為宣傳馬列主義，毛澤東思想，鞏固無產階級專政，發揮了積極作用」(人民日報 1975. 10. 9)
- (41) 「人民解放軍 總政治部 最近 向軍發出 通知——以階級鬥爭 為綱做好連隊 圖書閱覽工作」(人民日報 1975. 12. 13)
「解放軍總政治部向全軍發出通知——以階級鬥爭為綱做好連隊圖書閱覽工作」(光明日報 1975. 12. 13)
- (42) 「北京第二棉紡織廠團委在黨委的領導下 以路線教育為綱開展適合青年特點的活動」(人民日報 1973. 3. 18)
- (43) 「工廠辦圖書室好」(人民日報 1973. 4. 19)
- (44) 「漢陽軋鋼入黨委組織青年工人 積極閱讀和評論革命圖書」(人民日報 1973. 11. 17)
「漢陽軋鋼廠積極組織青年工人開展圖書閱讀和評論活動 更好地發揮 革命文藝的戰鬥作用」(光明日報 1973. 11. 17)
- (45) 「江蘇省清江光學儀器廠團員和青年在鬥爭中生氣勃勃——用無產階級思想占領青年業餘陣地」(人民日報 1973. 12. 12)
- (46) 「南通國棉三廠職工業餘文化生活活躍」(光明日報 1974. 2. 9)
- (47) 「在圖書閱覽陣地上——湖南株洲市工廠圖書室見聞」(人民日報 1975. 7. 12)
- (48) 「撫順石油三廠積極办好職工圖書館，開展圖書評論等活動——用無產階級思想占領工廠業餘文化陣地」(人民日報 1975. 2. 21)
- (49) 「長紅大隊自力更生辦圖書室」(光明日報 1972. 9. 14)
- (50) 「一個大隊團支部辦青年圖書室」(人民日報 1973. 1. 13)
「嘉定界外崗公社葛隆大隊團支部 發動青年自力更生辦圖書室」(光明日報 1973. 1. 18)
- (51) 「希望各級領導抓好農村文化工作」(光明日報 1973. 1. 25)
- (52) 「新化縣農村普遍建立圖書室 活躍回鄉和下鄉知識青年的文化生活」(人民日報 1973. 7. 14)
- (53) 「我們是怎樣辦農村圖書室的？」 中國共產黨醴陵縣委員會 (紅旗 1973. 8)
- (54) 「充分發揮革命圖書在三大革命運動中的作用 邁西鼎漁戶寨公社隊隊升起圖書室」(光明日報 1973. 12. 5)
- (55) 「小島漁村的圖書館」(人民日報 1974. 6. 2)
- (56) 「圖書室裏的鬥爭——用社會主義思想占領農村陣地」(人民日報 1975. 4. 1)
- (57) 「充分發揮革命圖書的重大作用——小靳莊大隊 圖書室越辦越好」(人民日報 1975. 5. 20)
- (58) 「農村圖書室威力大——北京市郊區農村圖書室的調查」(光明日報 1975. 7. 23)
- (59) 「開辦借書租書業務深受讀者歡迎——上海市新華書店一些門市部熱情為工農兵服務」(光明日報 1974. 2. 20)
「為工農兵讀者提供看書學習的條件——上海市新華書店一些門市部 開辦借書 租書業務，受到讀者歡迎」(人民日報 1974. 2. 21)

- (60) 「各地新華書店供銷社開展租借閱工作——用革命圖書占領思想文化陣地」(人民日報 1975. 4. 13)
- (61) 「積極向工農兵群眾發行批林批孔圖書——全國各地新華書店近一個月來發行徵訂批林批孔圖書兩億余冊受到廣大工農兵群眾和知識青年的歡迎」(光明日報 1974. 3. 3)
- (62) 「充分發揮革命圖書作用 積極幫助群眾看書學習——各地新華書店, 供銷社積極開展租書和借閱圖書工作, 為擴大城鄉社會主義思想文化陣地, 為鞏固無產階級專政貢獻力量」(光明日報 1975. 6. 7)
- (63) 「書店裏的一次座談會」(光明日報 1975. 6. 7)
- (64) 「把革命圖書送到高山遠鄉」湖北省利川縣新華書店(光明日報 1973. 3. 4)
- (65) 「沙漠裏的流動書店」內蒙古自治區新華書店(光明日報 1973. 8. 24)
- (66) 「重視農業科技書籍的發行工作」湖北省沔陽縣新華書店(光明日報 1973. 7. 16)
- (67) 「向山上下鄉知識青年積極輸送革命圖書」鍾聞(光明日報 1973. 8. 24)
- 「把書送到知識青年手裏」閔紹新(光明日報 1973. 8. 24)
- 「方便山上下鄉知識青年看書學習 建甌縣新華書店幫助社, 隊弁圖書室」(人民日報 1973. 10. 15)
- 「關懷青年一代成長 做好圖書供應工作 黑龍江省各地新華書店向山上下鄉知識青年積極輸送革命圖書」(光明日報 1974. 1. 9)
- (68) 「崑山縣新華書店和商業部門, 配合三大革命運動開展圖書發行工作」(人民日報 1975. 2. 5)
- (69) 「西藏自治區人民出版社和新華書店, 積極發行藏文圖書受到熱烈歡迎」(光明日報 1975. 6. 7)
- 「內蒙古自治區新華書店, 千方百計把藏文圖書發行到牧區」(光明日報 1975. 6. 7)
- 「新疆維吾爾自治區庫車縣新華書店, 送書上門 方便維吾爾族群眾」(光明日報 1975. 6. 7)
- (70) 「充分重視圖書館在四化建設中的地位和作用」(光明日報 1979. 11. 24)

＜中国図書館関係記事目録＞

1. この目録は、1970年1月～1979年12月までの10年間、人民日報、光明日報等に掲載された中国の図書館に関する記事を年月日の順に排列したものである。

2. 中国文でかかれたものに限定し、日本文のものは除いた。(例: 人民中国, 北京周報)

3. 記載事項は次のとおりである。

イ. 記事名 ロ. 執筆者名 ハ. 掲載紙(誌)名 ニ. 掲載年月日 ホ. < >内に地域(省、県市まで), []内に図書館名あるいは機関名, 書店名を補記した。

4. 中国の簡体字は、印刷の都合上、すべて日本の略字に統一している。

5. 本目録は、「アジア・アフリカ資料通

報(国立国会図書館参考書誌部編)」15巻11号(1978年2月)で紹介したものに、大幅な補足を加えたものである。

6. 末尾に欧文雑誌および図書の一部に収録された記事で気づいたものを付した。収録範囲は、中国文と同じく1970年1月以降のものに限った。(*印は未見, ※印は図書であることを示す)

背囊「書店」——記女共產黨員李太珍發行毛主席著作的先進事迹(人民日報 1970.

7. 20) <貴州省松桃苗族自治縣>〔孟溪供銷社〕

弁好圖書館 廣東省揭陽縣教育革命調查組(人民日報 1970. 9. 7) <廣東省揭陽縣>〔紅旗小字〕

密切結合三大革命運動 認真做好青少年校外教育工作——用毛主席思想占領課外閱

讀陣地 (人民日報 1971. 4. 15) <遼寧省營口市> [營口市第七中學]

指導學生的校外閱讀 (人民日報 1971. 7. 7) <遼寧省新金縣> [向陽小學]

弁好圖書館 為三大革命運動服務——南京圖書館注意轉變作風, 廣泛徵求群眾意見, 改進管理工作 (人民日報 1972. 4. 24) <江蘇省南京市>

不斷提高路線鬥爭覺悟, 積極為三大革命運動服務——天津、南京圖書館認真做好圖書工作 (光明日報 1972. 4. 25) <天津市>, <江蘇省南京市>

新樂縣開展流動圖書館活動——做好農村圖書工作, 占領社會主義文化陣地 新樂縣文化館 (光明日報 1972. 9. 14) <河北省新樂縣>

長紅大隊自力更生弁圖書室——做好農村圖書工作, 占領社會主義文化陣地 唐洋公社革命委, 人武部報道組 (光明日報 1972. 9. 14) <江蘇省東台縣>

弁好圖書館認真組織學生自學——社會主義大學應當如何弁? 上海師範大學教育革命組 (人民日報 1972. 11. 23) <上海市>

書評是指導閱讀的好形式——社會主義大學應當如何弁? 武漢大學圖書館 (人民日報 1972. 11. 23) <湖北省武漢市>

一個大隊團支部弁的青年圖書室 (人民日報 1973. 1. 13) <上海市嘉定縣> [葛隆大隊]

嘉定縣外崗公社葛隆大隊團支部 發動青年自力更生弁圖書室 (光明日報 1973. 1. 18) <上海市嘉定縣>

做好回城探親知識青年的工作 中共上海市普陀區中山北路街道委員會 (光明日報 1973. 1. 19) <上海市>

希望各級領導抓好農村文化工作 (光明日報 1973. 1. 25) <廣西壯族自治區> [拉域大隊]

歡樂的少年之家 (光明日報 1973. 1. 31)

<湖南省長沙市>

把革命圖書送到高山遠鄉 湖北省利川縣新華書店 (光明日報 1973. 3. 4) <湖北省利川縣>

北京第二棉紡績廠團委在黨委的領導下 以路線教育為綱開展適合青年特點的活動——廠團委組織團員和青年認真看書學習, 不斷提高階級鬥爭和路線鬥爭覺悟, 使廣大團員, 青年政治思想面貌發生了很大變化: 一年多來, 全廠已有十一名團員加入中國共產黨, 一百多名青年加入共青團 (人民日報 1973. 3. 18) <北京市>

江義大隊群眾業餘文化生活搞得生氣勃勃越來越豐富多彩——用社會主義思想占領農村的文化陣地 (光明日報 1973. 3. 23) <廣東省順德縣>

西藏出版發行事業迅速發展 (光明日報 1973. 4. 18) <西藏自治區> [新華書店]

工廠弁圖書室好 (人民日報 1973. 4. 19) <廣西壯族自治區玉林縣> [玉林鎮機械修造廠]

一個受到青年歡迎的合作圖書室——土河大隊團支部開展業餘閱讀圖書活動的調查報告 (光明日報 1973. 4. 19) <山西省靈泉縣>

新化縣農村普遍建立圖書室, 活躍回鄉和下鄉知識青年的文化生活 (人民日報 1973. 7. 14) <湖南省新化縣>

讓革命圖書更好地占領農村思想文化陣地 鍾電 (光明日報 1973. 7. 16)

摸清需要, 搞好發行工作 山西省洪洞縣甘亭公社供銷社 (光明日報 1973. 7. 16) <山西省洪洞縣> [楊曲大隊]

踏遍草原為人民 達木林 (光明日報 1973. 7. 16) <內蒙古自治區正鑲白旗> [新華書店]

重視農業科技書籍的發行工作 湖北省沔陽縣新華書店 (光明日報 1973. 7. 16) <湖

北省沔陽縣>

我們是怎樣辦農村圖書室的？ 中國共產黨
醴陵縣委員會（紅旗 1973.8）〈湖南省
醴陵縣〉

射陽縣新華書店工作人員努力向下鄉知識青
年供應圖書（人民日報 1973.8.10）〈江
蘇省射陽縣〉

向上山下鄉知識青年積極輸送革命圖書 鍾
聞（光明日報 1973.8.24）

把書送到知識青年手裏 閔紹新（光明日報
1973.8.24）〈福建省邵武縣〉〔沿山供銷
社〕

心想連隊送書忙 方秀斌（光明日報 1973.
8.24）〈黑龍江省〉〔新華書店〕

關心青年一代的成長 閻文彤（光明日報
1973.8.24）〈陝西省延安縣〉〔新華書店〕

沙漠裏的流動書店 內蒙古自治區新華書店
（光明日報 1973.8.24）〈內蒙古自治區〉

開展業餘學習 豐富文化生活——玉林縣沙
田公社各大隊創辦圖書室受到知識青年熱
烈歡迎（光明日報 1973.8.28）〈廣西壯
族自治區玉林縣〉

方便上山下鄉知識青年看書學習，建甌縣新
華書店幫助社，隊辦圖書室（人民日報
1973.10.15）〈福建省建甌縣〉

教育青少年的好場所——湖南省長沙市街道
圖書室調查 湖南省長沙市文化局（光明
日報 1973.10.17）〈湖南省長沙市〉

福建省圖書館認真做好圖書管理工作，積極
為看書學習和批林整風運動服務（光明日
報 1973.11.5）〈福建省福州市〉

福建省圖書館職工認真看書學習提高路線覺
悟，搞好圖書管理工作為批林整風服務
（人民日報 1973.11.10）〈福建省福州
市〉

馬口鎮文化館為兒童辦圖書室（人民日報
1973.11.16）〈湖北省漢川縣〉

山根大隊自力更生辦圖書室，組織社員認真

讀書——用社會主義思想占領農村文化陣
地（人民日報 1973.11.17）〈廣東省廣
寧縣〉

漢陽軋鋼廠黨委組織青年工人，積極閱讀和
評論革命圖書——用社會主義思想占領農
村文化陣地（人民日報 1973.11.17）

〈湖北省武漢市〉

山根大隊堅持勤儉節約原則努力办好圖書室
——用革命圖書占領農村文化陣地（光明
日報 1973.11.17）〈廣東省廣寧縣〉

漢陽軋鋼廠積極組織青年工人開展圖書閱讀
和評論活動，更好地發揮革命文藝的戰鬥
作用——六個主要車間都有了圖書評論小
組，許多科，室也有圖書評論員（光明日
報 1973.11.17）〈湖北省武漢市〉

臨汾地區新華書店以批林整風為綱，切實做
好農村圖書發行工作——用革命圖書占領
農村思想文化陣地（光明日報 1973.12.
5）〈山西省臨汾縣，洪洞縣，襄汾縣〉

充分發揮革命圖書在三大革命運動中的作
用，遷西縣漁戶寨公社隊隊升起圖書室
（光明日報 1973.12.5）〈河北省遷西縣〉

江蘇省清江光學儀器廠團員和青年在鬪爭中
生氣勃勃——用無產階級思想占領青年業
餘陣地（人民日報 1973.12.12）〈江蘇
省清江市〉

圖書管理員（人民日報 1973.12.12）〈吉
林省樺甸縣〉

一個受群眾歡迎的農村圖書室——用社會主
義思想占領農村文化陣地（人民日報
1973.12.22）〈新疆維吾爾自治區塔城
縣〉

積極開展講革命故事的活動——用社會主義
思想占領農村文化陣地（人民日報 1973.
12.22）〈四川省溫江縣〉

办好文化室，占領農村文化陣地 江蘇省泰
興縣河失公社河頭大隊黨支部（人民日報
1973.12.23）〈江蘇省泰興縣〉

關懷青年一代成長，做好圖書供應工作——

黑龍江省各地新華書店上山下鄉知識青年積極輸送革命圖書（光明日報 1974. 1. 9）〈黑龍江省〉

加強黨的領導，牢固地占領農村文化陣地

中共薊縣下倉公社委員會（光明日報 1974. 1. 9）〈天津市薊縣〉

黔東南苗族侗族自治州加強農村圖書發行工

作——用社會主義文化占領農村陣地（人民日報 1974. 1. 13）〈貴州省黔東南苗族侗族自治州〉〔新華書店〕

依靠群眾活躍農村文化生活——用社會主義

思想占領農村陣地（人民日報 1974. 1. 15）〈湖南省新化縣〉〔孟公大隊〕

把更多的革命圖書送到農村——用社會主義

思想占領農村陣地（人民日報 1974. 1. 15）〈北京市海澱區〉〔海澱區文化館〕

新金縣建立文化室，圖書室和業餘文藝宣傳

隊——圍繞階級鬥爭開展革命文化活動（人民日報 1974. 1. 17）〈遼寧省新金縣〉

義烏縣農村文化室越辦越好（人民日報

1974. 1. 28）〈浙江省義烏縣〉

南通國棉三廠職工業餘文化生活活躍（光明

日報 1974. 2. 9）〈江蘇省南通市〉

廣東省高州縣東岸公社办好農村文化室——

用革命的新思想新文化占領農村陣地（光明日報 1974. 2. 15）〈廣東省高州縣〉

河南省方城縣委加強對農村文化工作的領導

——全縣群眾性業餘文藝活動蓬勃開展（光明日報 1974. 2. 15）〈河南省方城縣〉

開弁借書租書業務深受讀者歡迎——上海市

新華書店一些門市部熱情為農工兵服務（光明日報 1974. 2. 20）〈上海市〉

為農工兵讀者提供看書學習的條件——上海

市新華書店一些門市部開弁借書租書業務，受到讀者歡迎（人民日報 1974. 2. 21）

〈上海市〉

積極向農工兵群眾發行批林批孔圖書——全

國各地新華書店近一個月來發行徵訂批林批孔圖書兩億余冊受到廣大農工兵群眾和知識青年的歡迎（光明日報 1974. 3. 3）

小島漁村的圖書館（人民日報 1974. 6. 2）

〈遼寧省旅大市〉

天津市街道圖書館迅速發展——用無產階級

思想占領城市思想文化陣地（光明日報 1974. 6. 12）〈天津市〉

熱情為農工兵深入批林批孔服務——河南省

圖書館和通化市圖書館積極開展圖書資料工作受到歡迎（光明日報 1974. 8. 29）

〈河南省鄭州市〉，〈吉林省通化市〉

圖書管理員——用社會主義占領農村思想文

化陣地的生力軍（人民日報 1974. 11. 23）〈上海市川沙縣〉〔東風大隊〕

上海圖書館適應鬥爭需要 採取多種措施方

便農工兵讀者——充分利用圖書資料，積極為批林批孔服務（光明日報 1974. 12. 13）〈上海市〉

北京市海澱區圖書館面向基層 協助五·七

農民政治學校建立圖書閱覽室——充分利用圖書資料，積極為批林批孔服務（光明日報 1974. 12. 13）〈北京市海澱區〉

遼寧師範學院圖書館實行開門弁館 為工農

兵理論隊伍批林批孔服務（光明日報 1975. 1. 8）〈遼寧省〉

走遍村村寨寨 發行革命圖書 李太珍（光

明日報 1975. 1. 14）〈貴州省松桃苗族自治縣〉〔孟溪供銷社〕

永善縣新華書店和商業部門緊密配合，努力

做好圖書發行工作（人民日報 1975. 2. 1）〈雲南省永善縣〉

龜山縣新華書店和商業部門，配合三大革命

運動開展圖書發行工作（人民日報 1975. 2. 5）〈湖南省龜山縣〉

撫順石油三廠積極弁好職工圖書館，開展閱

- 書評論等活動——用無產階級思想占領工廠業余文化陣地（人民日報 1975.2.21）
〈遼寧省撫順市〉
- 山陽公社很抓意識形態領域裏的革命——用社會主義占領農村思想文化陣地（人民日報 1975.2.26）〈上海市金山縣〉
- 認真做好農村圖書發行工作——通渭縣新華書店為適應貧下中農需要（人民日報 1975.3.20）〈甘肅省通渭縣〉
- 通渭縣新華書店認真做好圖書發行工作——適應貧下中農學習理論深入批林批孔需要（光明日報 1975.3.20）〈甘肅省通渭縣〉
- 河北霸縣勝芳公社中學開展編講革命故事運動——用社會主義占領農村思想文化陣地（光明日報 1975.3.21）〈河北省霸縣〉
- 圖書室裏的鬥爭——用社會主義思想占領農村陣地（人民日報 1975.4.1）〈吉林省樺甸縣〉
- 社會主義圖書組占領思想文化陣地——漢正街上的九件新事（8）（光明日報 1975.4.4）〈湖北省武漢市〉
- 各地新華書店供銷社開展租書借閱工作——用革命圖書占領思想文化陣地（人民日報 1975.4.13）
- 充分發揮革命圖書的重大作用——小靳莊大隊圖書室越弁越好（人民日報 1975.5.20）〈天津市寶坻縣〉
- 切實抓好圖書工作 鄭文（人民日報 1975.5.20）〈天津市寶坻縣〉
- 充分發揮革命圖書作用，積極幫助群眾看書學習——各地新華書店，供銷社積極開展租書和借閱圖書工作，為擴大城鄉社會主義思想文化陣地，為鞏固無產階級專政貢獻力量（光明日報 1975.6.7）
- 西藏自治區人民出版社和新華書店，積極發行藏文圖書受到熱烈歡迎——積極做好少數民族文字圖書發行工作（光明日報 1975.6.7）〈西藏自治區〉
- 內蒙古自治區新華書店，千方百計把蒙文圖書發行到牧區——積極做好少數民族文字圖書發行工作（光明日報 1975.6.7）〈內蒙古自治區〉
- 新疆維吾爾自治區庫車縣新華書店送書上門，方便維吾爾族群眾——積極做好少數民族文字圖書發行工作（光明日報 1975.6.7）〈新疆維吾爾自治區庫車縣〉
- 人民出版社等部門最近又出版一批農村版圖書——積極為知識青年學好理論創造條件（光明日報 1975.6.7）
- 流動租書好——湖北省公安縣孟溪區供銷社流動租書的調查（光明日報 1975.6.7）〈湖北省公安縣〉
- 書店裏的一次座談會（光明日報 1975.6.7）〈北京市懷柔縣〉〔新華書店〕
- 新疆維吾爾自治區圖書館開展群眾性書評活動（光明日報 1975.7.7）〈新疆維吾爾自治區〉
- 西藏自治區定日縣新華書店建立流動書店為農牧民服務（光明日報 1975.7.7）〈西藏自治區定日縣〉
- 廣西壯族自治區河池地區召開農村圖書發行工作經驗交流會（光明日報 1975.7.7）〈廣西壯族自治區河池縣〉
- 昆明市官渡區文化館把圖書工作的重點放在農村（光明日報 1975.7.7）〈雲南省昆明市〉
- 蘭州地區圖書館協作委員會開展圖書協作活動（光明日報 1975.7.7）〈甘肅省蘭州市〉
- 在圖書閱讀陣地上——湖南省株洲市工廠圖書室見聞（人民日報 1975.7.12）〈湖南省株洲市〉
- 農村圖書室威力大——北京郊區農村圖書室的調查 首都圖書館，北京大學中文系聯合調查組（光明日報 1975.7.23）〈北京

- 市>
- 天津第一玻璃廠開展群眾文化活動取得顯著成果——用無產階級思想占領工廠思想文化陣地（光明日報 1975.7.23）〈天津市〉
- 美匹茲堡大學東亞圖書館長訪華後過港 郭成棠談中國圖書館現狀 宇文正（大公報 1975.9.19）〔北京圖書館その他〕
- 天津市基層圖書館辦得好——全市已升起八千九百多個基層圖書館（室），為宣傳馬列主義，毛澤東思想，鞏固無產階級專政，發揮了積極作用（人民日報 1975.10.9）〈天津市〉
- 麻陽縣和什邡縣新華書店職工積極送書下鄉——用革命圖書占領農村文化陣地（光明日報 1975.10.24）〈湖南省麻陽縣〉，〈四川省什邡縣〉
- 送書上門（光明日報 1975.10.24）〈陝西省府谷縣〉〔新華書店〕
- 解放軍總政治部向全軍發出通知——以階級鬭爭為綱做好連隊圖書閱覽工作（光明日報 1975.12.13）
- 人民解放軍總政治部最近向全軍發出通知——以階級鬭爭為綱做好連隊圖書閱覽工作（人民日報 1975.12.13）
- 把圖書館辦成反修防修的強堅陣地 郭維因（光明日報 1976.6.5）
- 湖北省圖書館積極為農工兵理論隊伍服務（人民日報 1976.6.18）〈湖北省武漢市〉
- 昔陽縣農村文化陣地的變革（光明日報 1976.8.1）〈山西省昔陽縣〉
- 駱駝背上的書店 前哨，永翔（光明日報 1976.9.7）〈新疆維吾爾自治區〉〔新華書店〕
- 一個老反革命的自供狀 評張春橋三十年代中期的黑作品——徹底揭發批判王張江姚反黨集團 吉林省圖書館大批判組（光明日報 1976.11.22）
- 罪惡歷史掩蓋不了 殘酷迫害也是徒勞——上海圖書館工作人員憤怒控訴“四人幫”為了掩蓋張春橋，江青在三十年代反共反人民革命的老底，大搞白色恐怖，瘋狂鎮壓革命群眾的罪行（人民日報 1977.3.2）〈上海市〉
- 把“四人幫”的罪惡歷史暴露在光天化日之下——上海圖書館工作人員憤怒控訴“四人幫”妄圖掩蓋其反革命歷史，瘋狂鎮壓群眾的滔天罪行（光明日報 1977.3.2）〈上海市〉
- 斥所謂江青“開創了無產階級文藝的新紀元” 國家出版局版本圖書館批判組（人民日報 1977.3.3）
- 北京圖書館裏的新氣象（光明日報 1977.10.10）〈北京市〉
- 從馬克思在圖書館的“腳迹”說起 梁長娥（人民日報 1977.11.2）
- 圖書工作為提高教學質量服務（光明日報 1977.11.10）〈山西省新絳縣〉〔新絳中學〕
- 一切為了科研第一線——中國科學院圖書館紀事（光明日報 1977.11.23）〈北京市〉
- 以實際行動迎接科研工作新的大躍進 中國科學院圖書館（光明日報 1977.12.28）〈北京市〉
- 狠批“四人幫”文化專制主義，“文藝黑線專政”論 北京圖書館開放大批中外圖書（人民日報 1978.1.7）〈北京市〉
- 廣東省哲學社會科學學會聯合會舉行全體（擴大）會議（人民日報 1978.1.21）〈廣東省〉
- 經國務院批准，教育部發出通知 決定在全國办好一批重點中小學（光明日報 1978.1.25）
- 教育部決定在全國办好一批重點中小學（人民日報 1978.1.25）

從禁錮圖書看“四人幫”的愚民政策 武漢
大學圖書館學系理論組 (人民日報 1978.
2. 4)

肅清“四人幫”流毒發展哲學社會科學——
中國社會科學院舉行座談會，忿怒批判
“四人幫”炮制“兩個估計”摧殘哲學社會
科學工作者，破壞理論學術戰線的罪行，
會上對發展哲學社會科學提出許多積極建
議 (人民日報 1978. 3. 2) <北京市>

團結起來，為建設社會主義的現代化強國而
奮鬥——一九七八年二月二十六日在第五
屆全國人民代表大會第一次會議上的政府
工作報告 華國鋒 (人民日報 1978. 3. 7)

團結起來，為建設社會主義的現代化強國而
奮鬥——一九七八年二月二十六日在第五
屆全國人民代表大會第一次會議上的政府
工作報告 華國鋒 (光明日報 1978. 3. 7)

以揭批「四人幫」為綱大力開展群眾文化活
動 文化部召開全國群眾文化工作「學大
寨，趕昔陽」經驗交流現場會——陳永貴
副總理出席了開幕式並觀看了昔陽街頭文
藝演出和燈火游行 (光明日報 1978. 3.
24) <山西省昔陽縣> [大寨大隊]

在全國科學大會上的報告 一九七八年三月
十八日 (摘要) 方毅 (人民日報 1978.
3. 29)

在全國科學大會上的報告 一九七八年三月
十八日 (摘要) 方毅 (光明日報 1978.
3. 29)

湖南省圖書館開放被禁錮的圖書 (人民日報
1978. 4. 7) <湖南省長沙市>

北京拳弁外國科技圖書展覽會受到熱烈歡迎
(人民日報 1978. 4. 8) <北京市> [中
國圖書進口公司]

科技後勤兵的一次盛舉——記外國科技圖書
展覽會 (光明日報 1978. 4. 8) <北京市>
[中國圖書進口公司]

從門可羅雀到門庭若市 路遙 (人民日報

1978. 4. 9)

圖書館工作要跟上市勢 王忠泉 (人民日報
1978. 4. 12) <廣東省韶關市> [韶關市圖
書館]

貴州省圖書館建立讀者評書隊伍——發動群
眾分析鑑別 加速開放圖書 (光明日報
1978. 4. 15) <貴州省貴陽市>

信任，鼓勵和鞭策——憶周總理對圖書館工
作的關懷和教誨 中國科學院圖書館 辛
柯 (光明日報 1978. 4. 17)

廣東省哲學社會科學學會聯合會召開大會
深入揭批“四人幫”破壞理論戰線的罪行
(人民日報 1978. 4. 24) <廣東省>

廣東省哲學社會科學學會聯合會揭批“四人
幫”破壞理論戰線的罪行 決心正本清源
撥亂反正肅清“四人幫”流毒和影響——
歷史學會的同志在會上批判廣東省某教授
影射史學 (光明日報 1978. 4. 24) <廣
東省>

遼寧教育戰線揭批「四人幫」鬭爭的又一勝
利——瀋陽農學院召開大會慶祝學院恢復
和新生開學 (光明日報 1978. 4. 29) <遼
寧省瀋陽市>

圖書館大有潛力可挖——北京市公共圖書館
見聞 (人民日報 1978. 5. 6) <北京市>
熱心的「管理員」熊繼元 (光明日報 1978.
5. 14)

從列寧一張借書便箋聯想起的 吳梅昌 (人
民日報 1978. 5. 18)

從列寧重視圖書館談起 黃含驕 (光明日報
1978. 5. 18)

發揚“五四”光榮傳統 繁榮社會主義科學
文化——北京大學舉行“五四”科學討論
會 (光明日報 1978. 5. 20) <北京市>

「我們開闊了眼界，增長了見識」國內外科
技資料展覽在簡陽市展出受到各族群眾歡
迎 (光明日報 1978. 5. 29) <雲南省簡陽
市> [中國科學技術情報研究所]

繼往開來 古為今用——全國古籍善本書總目編輯工作會議在南京舉行 辛柯(光明日報 1978.6.9)〈江蘇省南京市〉

在全國教育工作會議上的報告 一九七八年四月二十二日(摘要) 劉西堯(光明日報 1978.6.11)

在全國教育工作會議上的報告 一九七八年四月二十二日(摘要) 劉西堯(人民日報 1978.6.12)

抓緊師資培養工作是當務之急 湖北省教育局(光明日報 1978.6.24)〈湖北省〉

圖書館的自動化 秦鈺輝(光明日報 1978.7.5)

促進圖書資料工作的開展——復旦大學表揚為教學和科研服務的先進人物(光明日報 1978.7.6)〈上海市〉

要有更多這樣的科研後勤兵(短評)(光明日報 1978.7.6)〈上海市〉〔復旦大學〕

切實解決學生學習生活中的困難——上海師大努力為走讀生創造良好學習條件(光明日報 1978.7.12)〈上海市〉

淮北市圖書館工作為甚麼跟不上形勢?(光明日報 1978.7.13)〈安徽省淮北市〉

為群眾學習科學文化服務(短評)(光明日報 1978.7.13)〈安徽省淮北市〉

經党中央,國務院批准中國人民大學正式恢復(光明日報 1978.7.14)〈北京市〉

濟南市各中小學普遍開展夏令營活動 趙顯坤(光明日報 1978.7.20)〈山東省濟南市〉

上海市教育局認真組織中小學生暑假活動 朱維炳(光明日報 1978.7.20)〈上海市〉

吉林省哲學社會科學學會聯合會恢復活動(光明日報 1978.7.29)〈吉林省〉

這個科技書展辦得好 戚墅堰機車車輛技術圖書館通訊組(光明日報 1978.8.5)〈江蘇省常州市〉

教育部召開全國高等院校文科教學座談會——制定教學方案,整頓加強文科教學(光明日報 1978.8.9)

英國情報圖書工作現代技術鳥瞰 吳昌功(光明日報 1978.8.16)

充分發揮圖書資料在教學科研中的作用——教育部發出通知,要求加強高等學校圖書館,資料室的建設(光明日報 1978.9.19)

毛澤東同志六十年前在北京的革命活動 伊雲(光明日報 1978.9.20)

遼寧省圖書館開放中外科技書刊——深受科研單位和廣大讀者的歡迎(光明日報 1978.9.26)〈遼寧省瀋陽市〉

為教學,生產和科研服務——佳木斯農機學院努力办好圖書館(光明日報 1978.9.26)〈黑龍江省佳木斯市〉

論我國圖書情報檢索的現代化問題 劉崇(武漢大學學報 哲學社會科學版 1978—5,1978.9)

武漢大學積極開展各種學術活動——活躍學術空氣,繁榮科學研究 吳高福(光明日報 1978.10.1)〈湖北省武漢市〉

不要用公款買書訂報發給個人 張笑一,李成林(人民日報 1978.10.9)

請開方便之門 邱楓(光明日報 1978.10.10)

南斯拉夫的成人教育 曉力(光明日報 1978.10.12)

把「死資料」變成「活資料」——合肥市科技情報所開展科技資料巡回服務工作取得好效果(光明日報 1978.10.18)〈安徽省合肥市〉

可貴的服務精神(短評)(光明日報 1978.10.18)〈安徽省合肥市〉〔科學技術情報研究所〕

圖書館禮贊 吳歌(人民日報 1978.10.29)

哲學社會科學為加快實現四化服務(人民日報 1978.11.4)

哲学社会科学要為實現四個現代化服務——
我國社會科學工作者正在制定全國哲學社會科學發展規劃（光明日報 1978.11.4）
教學與科研的好助手——西北農學院圖書館
見聞 戴慧文（光明日報 1978.11.8）
〈陝西省西安市〉
復旦大學黨委採取切實措施發揚民主——民
主空氣活躍，黨風，學風，校風為之大變
（光明日報 1978.11.8）〈上海市〉
黑龍江八一農墾大學自力更生擴建校舍——
適應教育事業的發展 加強學校建設（光明
日報 1978.11.9）〈黑龍江省〉
海南行政區教育局召開重點中學校長座談會
——採取有力措施 办好重點中學 符策
震（光明日報 1978.11.11）〈廣東省〉
北京圖書館向布加勒斯特圖書館贈書（光明
日報 1978.11.11）〈北京市〉
把鋼用在刀刃上（光明日報 1978.11.15）
〈四川省〉
天安門“四五”運動的詩文，圖冊，史料等
即將出版（光明日報 1978.11.23）〈北
京市〉〔哲學研究所圖書資料室等〕
漳州市積極掃還被占用的工人療養院和工人
俱樂部（人民日報 1978.11.27）〈福建
省漳州市〉
長征路上邁新步——訪陝西省農林科學院
惠金義（光明日報 1978.11.30）〈陝西
省〉
大連工學院聘請圖書採購顧問（光明日報
1978.11.30）〈遼寧省旅大市〉
重慶大學新建一座圖書館（光明日報 1978.
11.30）〈四川省重慶市〉
開展圖書現代化的研究是新時期圖書館學
的重大課題 黃宗忠他（武漢大學學報 哲
學社會科學版 1978—6, 1978.11）
努力為教學科研服務——西安交通大學圖書
認真改進工作（光明日報 1978.12.2）
〈陝西省西安市〉

為教學科研搭橋鋪路的人——記西北農學院
圖書資料員的事跡 李志岐（光明日報
1978.12.2）〈陝西省西安市〉
敝架售書一瞥 王晨（光明日報 1978.12.3）
〈北京市〉〔新華書店〕
八三二〇二部隊積極退還校舍安徽農學院般
回原校址辦學（人民日報 1978.12.6）
〈安徽省合肥市〉
落實民族政策 加強各民族大團結——國家
民委系統廣大幹部群眾密切聯繫實際，揭
批林彪，“四人幫”破壞民族團結，取消民
族工作的罪行（人民日報 1978.12.9）
美國未來的超巨型大學（光明日報 1978.
12.21）
為促進農業高速發展当好參謀——招遠鼎新
華書店農業科技書發行工作越做越活 苗
湖田（光明日報 1979.1.5）〈山東省招
遠縣〉
後勤工作出色 師生幹勁倍增——株洲市鐵
路機械學校黨委切實關心群眾生活福利
（光明日報 1979.1.7）〈湖南省株洲
市〉
執信中學圖書館積極為教學服務——把學校
工作的重點轉移到教學方面來（光明日報
1979.1.13）〈廣東省廣州市〉
全國籌建九個外國教材中心圖書室——大力
引進 充分利用 服務教學（光明日報
1979.1.17）
圖書情報工作必須走在科研工作的前面——
中國科學院召開圖書情報工作會議（光明
日報 1979.1.18）〈北京市〉
重視和加強圖書情報工作（短評）（光明日
報 1979.1.18）〈北京市〉〔中國科學
院〕
教育部，財政部作出規定——關於中小學勤
工儉學收益納稅，分配使用問題（光明日
報 1979.1.20）
要按“兩個中心”的要求办好大學 唐敖慶

- (光明日報 1979.2.1)
- 武漢地區高等院校成立圖書館協作委員會
(光明日報 1979.2.6)〈湖北省武漢市〉
- 建甌縣圖書館積極清理和收購古籍書
(光明日報 1979.2.7)〈福建省建甌縣〉
- 把舊書收售工作迅速恢復起來 王晨
(光明日報 1979.2.7)
- 把高校升成教育和科研中心——國家科委，
教育部，農林部聯合召開全國高校科研工作
會議，總結正反兩方面經驗，弄清路線
是非，討論工作重點的轉移 (人民日報
1979.2.8)
- 弄清教育戰線是非 解放思想大幹四化——
全國高校科研工作會議強調重點高校要真
正升成兩個中心 (光明日報 1979.2.8)
- 對高等教育工作的十點建議 張健 (光明日
報 1979.2.14)
- 人盡其才 各得其所——天津市工業自動化
儀表研究所「定人員」工作調查 董克恭
(光明日報 1979.2.20)〈天津市〉
- 現代化的日本大學圖書館 魏龍泉 (光明日
報 1979.2.22)
- 建議把培養師資列為培養人才的重點 李友
芝 (光明日報 1979.3.7)
- 農民迫切需要改善文化生活 李成忠 (人民
日報 1979.3.11)〈貴州省貴陽市〉
- 黨委領導必須把主要精力轉到教學科研上來
——山東大學召開學術委員會擴大會議，
就學校工作重點轉移問題聽取意見 (光明
日報 1979.3.14)〈山東省濟南市〉
- 參加全國醫學圖書館工作會議代表提出必須
重視醫學圖書館工作努力為教學科研醫療
服務 (光明日報 1979.3.17)
- 〈郭沫若著書目〉即將出版為研究郭沫若
著作提供重要資料 肖斌如 (文匯報
1979.3.17)〈上海市〉〔上海圖書館〕
- 冒雨借圖書 (文匯報 1979.3.20)〈河北
省〉〔北戴河區文化館圖書館〕
- 范欽和天一閣藏書樓 王欣榮 (光明日報
1979.3.21)〈浙江省寧波市〉
- 〈中華文史論叢〉發表胡適論著和書札 (人
民日報 1979.3.23)〈上海市〉〔上海圖
書館〕
- 山西省發見宋、遼、金刻書籍 山西省古籍
善本編目辦公室 (人民日報 1979.3.29)
〈山西省太原市，祁縣〉〔山西省圖書
館，山西省祁縣圖書館〕
- 別再用攤派非法售書了 常招旗 (光明日報
1979.3.30)〈山西省黎城縣〉〔新華書
店〕
- 把圖書供應到農業第一線 魯秉林 (光明日
報 1979.3.30)〈湖南省祁陽縣〉〔新華
書店〕
- 受科技人員歡迎的書店 樓家騏 (光明日報
1979.3.30)〈甘肅省蘭州市〉
- “侵吞”書報的現象應該制止 辛山 (人民日
報 1979.3.31)
- 李大釗與我國現代圖書館事業 圖書館學系
圖書館 (上海師範大學學報 哲學社會科
學版 1979—3)
- 充分利用圖書資料為四化服務——首都圖書
館，北京市科技情報所聯合開設閱覽室
(光明日報 1979.4.3)〈北京市〉
- 九大城市外國科技書展圓滿結束——展出期
間共接待參觀者約六十萬人次 魏龍泉
(光明日報 1979.4.3)
- 在學校領導和師生們的共同努力下 本市各
大學分校順利開展教學工作 肖學金 (文
匯報 1979.4.3)〈上海市〉
- 華北電力學院與電科院聯合成立研究生部
許作民，朱長室 (光明日報 1979.4.4)
〈北京市〉
- 中學取消教師坐班制好處多 張朝陽 (光明
日報 1979.4.6)〈北京市〉〔北京圖書館〕
- 制止損壞圖書的不道德行為 (文匯報 1979.
4.8)〈上海市〉〔上海師範學院圖書館〕

上海圖書館適應工作着重點的轉移——緊密
聯系科研和生產實際拳弁講座 孫秉良
(文匯報 1979.4.18) <上海市>

大學圖書館工作急待跟上 陳本林, 張自強
(文匯報 1979.4.21) <上海市>

吳文俊陳景潤結束在美國的研究和講學活動
——陳景潤在最小素數的研究方面又取得
新進展 (人民日報 1979.4.29)

我們需要文化生活 苗禾, 賈國慶 (人民日
報 1979.4.30) <湖北省>

東鹿縣圖書館在農村開展流動圖書館活動
(人民日報 1979.5.1) <河北省東鹿縣>

上海圖書館採取各種措施為讀者服務 (人民
日報 1979.5.1) <上海市>

瀋陽市青少年校外活動生動活潑 (人民日報
1979.5.2) <遼寧省瀋陽市>

學習先烈精神肩負歷史重任 北京大學圖書
館學系七七級團支部 (光明日報 1979.
5.4) <北京市>

李大釗與圖書館 張厚生 (文匯報 1979.
5.4)

巴黎的新學府和知識之宮——參觀蓬皮杜文
化藝術中心 張佩蘭 (光明日報 1979.
5.17)

上海圖書館少兒分館積極開展工作——幫助
中小學生提高科學文化知識 (文匯報
1979.5.18) <上海市>

由“科盲”到專家 記山東省電力工業局副
總工程師蔡宗健同志 顏正國 (光明日報
1979.5.19) <山東省>

全心全意為教學和科研服務——人民大學黨
史系資料室認真做好資料工作 (光明日報
1979.5.19) <北京市>

湖北省高等学校成立校際間協作組織 (人民
日報 1979.5.20) <湖北省>

加速把高等学校建設成為教學科研中心——
湖北高校成立校際間協作組織 (光明日報
1979.5.20) <湖北省>

調整中學布局改革中等教育結構 李牧生,
張國光 (光明日報 1979.5.20)

獻給孩子們歡度節日的禮物——少兒出版社
“六一”前將出版一批圖書 楊光裕, 胡永
槐 (文匯報 1979.5.20) <上海市>

高陵縣拳弁知識青年業餘學校——幫助下鄉
知青提高文化科學知識水平 (光明日報
1979.5.22) <陝西省高陵縣>

高陵縣拳弁知青業餘學校深受歡迎——滿足
下鄉知青學習文化科學知識的願望 (人民
日報 1979.5.23) <陝西省高陵縣>

科技情報工作要適應四化需要 郭長春 (光
明日報 1979.5.26) <湖南省株洲市>

宋慶齡副委員長為北京市少年兒童圖書館題
寫館名 周金益 (光明日報 1979.5.26)
<北京市>

北京圖書館“小少慢”的狀況急需改變 叢
林中, 歐慶林 (人民日報 1979.5.26)
<北京市>

中等教育結構改革是當務之急——從一個地
區中等教育現狀的調查想到的幾個問題
開封師範學院教育教研室教育學組 (人民
日報 1979.5.26) <河南省開封市>

昆明市各街道拳弁社會青年業餘夜校 (人民
日報 1979.5.27) <雲南省昆明市>

為“搶救”文史資料大聲疾呼 董一博 (人
民日報 1979.5.29)

中國科學院圖書館原副館長顧家傑同志追悼
會在北京舉行 (光明日報 1979.6.2)
<北京市>

河北省整理古籍善本書 蘭玉堂 (光明日報
1979.6.5) <河北省>

訪陳景潤 顧邁南 (人民日報 1979.6.8)

北大圖書館在團委會和學生會配合下開展
「共產主義道德教育周」活動 北大新聞
專業七七級學生 (光明日報 1979.6.9)
<北京市>

祁縣圖書館發見宋版書「昌黎先生集考異」

祁県圖書館善本組〈光明日報 1979.6.13〉
〈山西省祁県〉
吳通生教授遺書二百余冊贈給安徽師範大學
圖書館 安師圖書館通訊組〈光明日報
1979.6.13〉〈安徽省〉
山村的夜晚 呂學奎, 王成彥〈人民日報
1979.6.16〉〈山東省臨朐縣〉〔朱家峪大隊〕
要办好大學圖書館 王德才〈人民日報
1979.6.21〉
陝西地區加強圖書資料工作的協作 周蔭
〈光明日報 1979.6.23〉〈陝西省〉
上海師大文科舉升學術活動日〈光明日報
1979.6.23〉〈上海市〉
政府工作報告——一九七九年六月十八日在
第五屆全國人民代表大會第二次會議上
華國鋒〈人民日報 1979.6.26〉
政府工作報告——一九七九年六月十八日在
第五屆全國人民代表大會第二次會議上
華國鋒〈光明日報 1979.6.26〉
採取措施改進工作為献身四化的人們服務
——上海圖書館成為讀者的好參謀部〈文
匯報 1979.7.8〉〈上海市〉
千方百計為四化服務〈短評〉〈文匯報
1979.7.8〉〈上海市〉
教育部, 團中央要求各地教育部門和團組織
——切實安排好中小學生暑假生活〈文
匯報 1979.7.8〉
感謝北京圖書館等單位熱情接待 顧明〈光
明日報 1979.7.15〉〈北京市〉
我是怎樣學習和推廣普通話的 郭青萍〈光
明日報 1979.7.18〉〈河南省安陽市〉
〔安陽市圖書館〕
唐山廣大讀者急待借閱書報——文化局竟把
圖書館書庫作招待所 王任舒, 李江池
〈人民日報 1979.7.19〉〈河北省唐山
市〉〔唐山圖書館〕
沙市三中圖書室積極為教學服務〈人民日報

1979.7.19〉〈湖北省沙市市〉
成都科大圖書館實行“定題服務” 孫思濤,
李維中〈光明日報 1979.7.19〉〈四川省
成都市〉
南開大學召開師生員工代表會 路清枝〈光
明日報 1979.7.19〉〈天津市〉
盧松安先生為國捐書 光偉〈光明日報
1979.7.21〉〈山東省〉〔山東省圖書館〕
全國第一次科學學學術討論會在北京召開
——研究科學學 按照科學發展規律管理
科學 張義德〈光明日報 1979.7.21〉
南京大學宗教研究所積極開展研究工作〈光
明日報 1979.7.22〉〈江蘇省南京市〉
吉林省的經驗證明——勤工儉學好處多〈光
明日報 1979.7.24〉〈吉林省〉
加快現代化圖書館事業建設為四化服務——
中國圖書館學會舉行成立大會和科學討論
會 肖自力〈光明日報 1979.7.25〉
江蘇省委黨校堅決執行國務院有關文件精神
——妥善歸還南京農學院校舍 仇文干
〈光明日報 1979.7.26〉〈江蘇省南京
市〉
發展圖書館事業 積極為四化服務——中國
圖書館學會成立大會和圖書館學科學討論
會在太原舉行 馮木平〈人民日報 1979.
7.28〉
上海天文台佘山站出色的後勤兵——周淑群
管理圖書井井有條 魏百善, 鄔福鴻〈解
放日報 1979.7.28〉〈上海市〉
全國各地外語院系積極開展外語電教資料協
作活動 吳在揚〈光明日報 1979.8.1〉
牛津和劍橋 孫文芳〈光明日報 1979.8.2〉
讀書和借書 振文〈文匯報 1979.8.7〉
〈上海市〉
建議開辟科學公園 幽谷〈光明日報 1979.
8.8〉〈北京市〉
湖北省教育局調整中小學教育事業——繼續
普及小學, 積極發展中專, 技工學校和工

- 農業余教育 郭德一 (光明日報 1979. 8. 16) <湖北省>
- 圖書管理与出版要更上一層樓 許國華 (文匯報 1979. 8. 23)
- 寧鉞在健康成長 王術 (光明日報 1979. 8. 24)
- 懷念陳毅同志對文博事業的巨大關懷 沈之瑜 (光明日報 1979. 8. 25)
- 北京圖書館何時能有個變化? 北京圖書館同志的回答 (人民日報 1979. 8. 25) <北京市>
- 世界最大圖書館之一 藏書一千万冊 北京圖書館將擴建——新館址設在北京西郊準備向外國人開放 平面面積將擴大逾一百万方英尺 (文匯報<香港> 1979. 8. 27) <北京市>
- 上海科學技術情報研究所採取多種形式——為四化第一線提供科技情報 (解放日報 1979. 8. 28) <上海市>
- 七房村農民圖書館堅持辦了十七年 (人民日報 1979. 8. 31) <江西省波陽縣> [北源大隊]
- 回憶延安時期的新華書店 周保昌 (光明日報 1979. 9. 1) <陝西省延安市>
- 為讀者找書 為書找讀者——上海科技書店千方百計為顧客服務 (文匯報 1979. 9. 12) <上海市>
- 方毅副總理會見美國圖書館訪華團 (光明日報 1979. 9. 18)
- 青年革新之花為何開不起來? 孫寶君, 張穎 (人民日報 1979. 9. 22) <吉林省長春市, 吉林市>
- 關於國內現存清代<台灣府志>版本的情況 (光明日報 1979. 9. 23)
- 在研究所所長的位置上——記著名物理學家黃昆教授 何春藩, 馮應章 (光明日報 1979. 9. 28)
- 新中國圖書館事業三十年 黃宗忠 (武漢大學學報 哲學社會科學版 1979—5, 1979. 9)
- 地質科技書刊展覽展出 甘德福 (解放日報 1979. 10. 5) <上海市> [上海圖書館]
- 充分發揮科技圖書作用的好形式——江蘇省常熟部分工廠聯合舉辦科技圖書流動展覽 嚴宗煜, 吳家明 (光明日報 1979. 10. 7) <江蘇省常熟縣>
- 圖書館工作要有一個新的發展 肖自力, 鮑振西 (光明日報 1979. 10. 7)
- 上海圖書館業余理論小組堅持實踐第一觀點——應用馬列主義研究新情況探索新問題 (文匯報 1979. 10. 9) <上海市>
- 北京鋼鐵圖書館開架借書 陳放 (光明日報 1979. 10. 13) <北京市> [北京鋼鐵學院]
- 這批書刊為何沒有發揮作用? 羅京生 (光明日報 1979. 10. 14) <北京市> [中國科學技術情報研究所]
- 南開大學集會慶祝建校六十周年——方毅同志在慶祝大會上講話並為周恩來同志紀念碑落成剪彩 解洪英, 路清枝, 王莉華 (光明日報 1979. 10. 18) <天津市>
- 武漢市組織和動員社會力量各方密切配合——為做好學校內外青少年工作辦了十件事 管少一, 肖志華 (光明日報 1979. 10. 27) <湖北省武漢市>
- 南開大學肖采瑜教授生前留遺囑一批珍貴書籍資料獻給校圖書館 龔立 (光明日報 1979. 10. 28) <天津市>
- 回憶父親李大釗的一些革命活動 李葆華 (人民日報 1979. 10. 29)
- 研究李大釗學習李大釗——在首都紀念李大釗同志誕辰九十周年大會上報告的摘要 李新 (人民日報 1979. 11. 1)
- 牛津和牛津大學 (文匯報 1979. 11. 3)
- 「情報爆炸」出路何在?——國外縮微技術的應用與發展 周鼎恒 (光明日報 1979. 11. 8)
- 學術研究又獲新工具<中國近代現代叢書目

錄>刊行 斌如, 肖砺(文匯報 1979. 11. 12) <上海市> [上海圖書館]

開辟科學公園好處多 錢玄(光明日報 1979. 11. 14) <北京市>

建議把北京龍潭公園改建為科學公園 徐宛南(光明日報 1979. 11. 14) <北京市>

老科學家茅以昇贊同開辟科學公園 羅京生(光明日報 1979. 11. 14) <北京市>

南市區圖書館敞開大門 李倫新(文匯報 1979. 11. 15) <上海市南區>

廣西科技圖書館開展各種服務活動(光明日報 1979. 11. 15) <廣西壯族自治區>

上海新聞集錦 蔣信偉(文匯報 1979. 11. 17) <上海市> [上海圖書館]

陝西省各高等院校積極採取措施 改善學術帶頭人和教學科研骨幹的工作條件(光明日報 1979. 11. 20) <陝西省>

北京市東城區中小學開展後勤工作互查評比活動(光明日報 1979. 11. 22) <北京市東城區>

長沙市街道圖書館受到青少年歡迎(光明日報 1979. 11. 24) <湖南省長沙市>

希望急速解決借書難的問題 魯宇(光明日報 1979. 11. 24) <河南省>

山東省圖書館採取措施 千方百計為科研工作服務(光明日報 1979. 11. 24) <山東省>

廣州讀者看書難 高炳禮(光明日報 1979. 11. 24) <廣東省>

充分重視圖書館在四化建設中的地位和作用(光明日報 1979. 11. 24)

北京市委召開青少年教育工作經驗交流會 要求社會各方面力量動員起來 為一代新人健康成長多作貢獻(光明日報 1979. 11. 24) <北京市>

科技情報是通向未來的橋梁 辛光琪(文匯報 1979. 11. 29)

退休幹部韓行民熱心教育青少年(人民日報

1979. 12. 3) <湖南省邵陽市>

上海新聞集錦——南市區圖書館組織作家與讀者見面(文匯報 1979. 12. 4) <上海市南市區>

圖書開架閱覽得失談 朱偉倫(文匯報 1979. 12. 9) <上海市> [上海師範大學圖書館]

北京圖書館弁的<文庫>叢刊出版(光明日報 1979. 12. 9) <北京市>

“活目錄”周淑群 鄺福鴻, 魏百善(文匯報 1979. 12. 10) <上海市>

<中國當代文學研究資料>將陸續出版 唐金海(文匯報 1979. 12. 13)

把青少年吸引到圖書館裏來 楊光裕, 錢仍烈(文匯報 1979. 12. 15) <上海市>

還購買者以選購的自由 林鼎(文匯報 1979. 12. 17)

這裏的教學質量為甚麼高?——三河縣中小學動工儉學調查報告之二 張天來(光明日報 1979. 12. 22) <河北省三河縣>

真理·信仰·鬭爭——介紹<周恩來同志旅歐文集> 江淑娟(光明日報 1979. 12. 25) <天津市> [天津市人民圖書館]

毀書更有護書人(文匯報 1979. 12. 27) <北京市>

毀書更有護書人 被抄珍籍歸原主 張慧賢(光明日報 1979. 12. 27) <北京市>

鞍山市圖書館發揚優良傳統 為四化建設“跟蹤服務” 寧敏義(光明日報 1979. 12. 29) <遼寧省鞍山市>

哈爾濱工業大學提昇一批實驗, 圖書, 資料人員 哈通(光明日報 1979. 12. 30) <黑龍江省哈爾濱市>

<歐文>

Hsia, Tao-tai(夏道泰) & Haun, Kathryn: Communist Chinese legislation on publications and libraries. Quarterly

- Journal of the Library of Congress. Vol. 27-1, 1970
- Ma, John T.: Libraries in the People's Republic of China since 1949. Wilson Library Bulletin. Vol. 45-10, 1971
- ※Pelissier, Roger: Les bibliothèques en Chine pendant la première moitié du XX^e siècle. Paris, Mouton, 1971
- *Gupta, R.K.: Academic library scene in the People's Republic of China and India. Annual Library Science Documentation. Vol. 18-4, 1971
- Wang, Chi (王冀): Report of visit to China June 1-18, 1972. Library of Congress Information Bulletin. Vol. 31-39, 1972
- *Wang, Chi (王冀): Library and publishing activities in China; personal observations from a visit to the People's Republic of China. Foreign Acquisitions Newsletter. No. 38, 1973
- Yu, P.K. (余秉權): Bibliographic control in the People's Republic of China, 1949-1973. Paper presented to the XXV Annual Meeting of the Association for Asian Studies, Chicago, 1973
- Yu, P.K. (余秉權): Bibliographic control in the People's Republic of China, 1949-1973. Foreign Acquisitions Newsletter. No. 47, 1978
- Bishop, Enid: University libraries in China; some personal observations. Australian Academic and Research Libraries. March 1974
- Wang, S.W.: Impressions of Chinese libraries and the Chinese book market. Australian Academic and Research Libraries. March 1974
- Howard, Roger: Libraries in the People's Republic of China. Assistant Librarian. Vol. 67-4, 1974
- ※Proett, P.-A.B.: A history of libraries in the People's Republic of China, including some aspects of college and university library development, 1949-1974. Ed. D. Theses, George Washington University. 1974
- Fang, Josephine Riss: Chinese libraries carry out chairman Mao's dictum; "Serve the People". Wilson Library Bulletin. Vol. 49-10, 1975
- Goldberg, Birgitte: Libraries and mass communication in the People's Republic of China. Scandinavian Public Library Quarterly. Vol. 8-2, 1975
- Kuo, Thomas C. (郭成業): The state of current library operation in China. Association of Research Libraries. Center for Chinese Research Materials. Newsletter. No. 20, 1976
- *Wang, Weiyong: Libraries in the People's Republic of China; a first hand report. The University of Michigan Librarian. Vol. 8-22, 1976
- ※Fang, Josephine Riss: Library developments in the People's Republic of China. The Bowker Annual of Library & Book Trade Information, 21st ed. New York, 1976
- Richnell, D.T. & Nelson, Howard: Libraries in the People's Republic of China; a report of a visit, June 1976. Journal of Librarianship. Vol. 9-1, 1977
- Barclay, John: China; libraries 'Serve the People' (Mao Tse-tung). The

Australian Library Journal. Vol. 27-4,
1978

Symons, Berry: The National Library
of Peking; an Australian librarian's
view. The Australian Library Journal.
Vol. 27-6, 1978

Castagna, Edwin: A visit to two Chinese
libraries. Wilson Library Bulletin. Vol.
52-10, 1978

Barclay, John: The four modernisations

embrace libraries in the People's Re-
public of China. The Australian Li-
brary Journal Vol. 28-7, 1979

Tsuneishi, Warren M.: U.S. librarians
visit the People's Republic of China.
Library of Congress Information Bul-
letin. Vol. 38-48, 1979

(1979. 12. 31)

(なかはら・ますゑ)

アジア・アフリカ課主査)

レファレンス
余話

レファレンスの先取りと云ってしまうと大げさだが、第一線の政治家の名前がマスコミを賑わす事態が起きると、該当者の伝記的資料の調査に取りかかる。それは法律政治課のレファレンスとして、間もなく求められるであろうことの子測である。最近でも、首相が決まるまでに、さまざまに取沙汰された何人かの候補者について、問合せを受けたことも例外ではなかった。また、とくにマスコミ関係者から待たなしの即答を要求されるのは“死去”の時である。人の不幸を予め用意するようで後めた話だが、危篤が報じられると現実には必至である。佐藤栄作総理や保利茂衆議院議長の場合もそうだった。概して政治家についての人物情報源の要求はかなり多い。電話の場合は現代の人、文書レファレンスとなると、あまり知名度の高くない古い時代の

人が多い。最近の伝記的事項調査の依頼にあった山中隣之助や日向輝武も、どちらかといえば馴みの薄い名前の代議士の一例だが、山中隣之助の場合、各種の「衆議院議員名鑑」に記載されるのは当然だが、履歴事項から判断し、『東京商業会議所会員列伝』(明治25)、で実業界サイドの部分で補充することが出来た。また出身地がわかると、その地の人物誌等で調べることもよくあるケースだ。逆に、かなり高名な人でも意外に“伝記”らしいものが見当らないこともある。高平小五郎もその例だった。彼は日露講和会議の全権委員や明治41年に高平・ルート協定を締結し、のち貴族院議員になった人だが、事典類にみえる記載程度を越えるものが見当らない。あとで調査依頼者から直接聞いた話だが、高平小五郎は、派手に頭角されることを好まず、伝記書の類など一切出さないことを望んでいたとか。

(法律政治課 山口美代子)